

Ⅲ 講 義 概 要

1 総合基礎教育科目 (三学科共通)

総合基礎教育科目

科目名	頁
心理学	1
教育学	2
哲学	3
自然科学	4
自然科学演習	5
数学	6
統計学	7
環境学＜放送大学＞	8
生命倫理学	12
スポーツ学	13
経済学	14
社会学	15
政治学	16
国際関係論	17
人間関係・コミュニケーション論	18
文章表現法	19
文学＜放送大学＞	20
文化人類学	24
宗教学	25
英語Ⅰ	27
英語Ⅱ	28
英語プレゼンテーション	30
英語表現法Ⅰ	31
英語表現法Ⅱ	32
医療英会話	34
実践英語	36
韓国語	37
中国語	39
アカデミックリテラシー	40
情報科学・情報リテラシー	41
問題解決思考＜放送大学＞	42
地元（やまがた）探求Ⅰ	43
地元（やまがた）探求Ⅱ	44

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
心 理 学		理学・作業療法学科 (総合基礎教育科目)	名誉教授 佐竹 真次	選択	1	前期	2	非該当	可
授業概要		心理学は学習心理学や教育心理学、認知心理学等のさまざまな分野に発展的に分岐しているが、この科目ではそれらの基本となる基礎心理学（一般心理学）を概論する。しかし、単に理論を講じるだけではなく、人間の心理や行動に関する具体的ケースを提示し、心を科学する観点からグループ・ディスカッションを行い、実質的に理解を深める。							
一般目標		1 感覚、知覚、認知、記憶、情動、学習、行動などの心理的諸機能について学ぶ。 2 心理的諸機能の知識により自己と他者の共通性と相違を学ぶ。 3 心理的諸機能と他者、社会とのかかわりを学ぶ。							
到達目標		①心理学の公共性、反復性、体系性について述べることができる。②三項随伴性、弁別刺激、強化刺激、強化、消去、般化について述べることができる。③オペラント行動とレスポナント行動について述べることができる。④カウンセリングの基本姿勢とスキル、感情転移について述べることができる。⑤モダリティの決定因、刺激閾、刺激頂、弁別閾、順応について述べることができる。⑥図と地、群化の要因、知覚の恒常性、形の処理について述べることができる。⑦エピソード・意味・手続の記憶、記銘、保持、検索について述べることができる。⑧感情、情動発生の主要なモデルについて述べることができる。⑨基本的動機、派生的動機、動機と葛藤と行動について述べることができる。⑩失語症、概念学習、思考の発達、推理の方法について述べることができる。⑪知能テスト、パーソナリティ・テストについて述べることができる。⑫理不尽な要求、偏見、リーダーシップPM理論について述べることができる。⑬発達の定義・段階、基本的信頼感、自我同一性について述べることができる。⑭心理アセスメントのポイント、心理療法の種類について述べることができる。⑮心理学的諸機能と自分の個々の活動との関連について述べることができる。							
成績評価方針 評価方法 および基準		討論（15点）、理解度チェック（試験等）（65点）、レポート等（20点）を総合して成績評価を行う。							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法				授業外学習など	担当	
1	5.4.10（月）4	心理学の意義と方法	公共性、反復性、体系性等				各回の授業項目にあたる教科書の箇所を事前に読んで予習しておく。 毎回の授業でその回のトピックに関してグループ・ディスカッションを行ってレポートをまとめるので、主体的・積極的に参加する。	佐竹	
2	5.4.17（月）4	学習	三項随伴性、弁別、強化、般化等						
3	5.4.24（月）4	行動	オペラントとレスポナント等						
4	5.5.1（月）4	カウンセリング	カウンセリングスキル、感情転移						
5	5.5.8（月）4	感覚	モダリティの決定因、刺激閾、弁別閾						
6	5.5.15（月）4	知覚・認知	図と地、群化の要因等						
7	5.5.22（月）4	記憶	記銘、保持、検索等						
8	5.5.29（月）4	情動	感情、情動発生の主要なモデル						
9	5.6.5（月）4	動機づけ	動機と葛藤と行動等						
10	5.6.12（月）4	言語・概念・思考	失語症、概念学習、思考の発達等						
11	5.6.19（月）4	知能・パーソナリティ	知能テスト、パーソナリティ・テスト等						
12	5.6.26（月）4	集団と人間関係	偏見、リーダーシップ理論等						
13	5.7.3（月）4	発達	発達の定義・段階、発達の障がい						
14	5.7.10（月）4	心理アセスメント	心理アセスメント、心理療法等						
15	5.7.24（月）4	総合討論	これまでの学習の検討						
教 科 書 参 考 図 書		教科書：内山靖・藤井浩美・立石雅子（編）リハベーシック 心理学・臨床心理学（医歯薬出版） 参考図書：Smith, E. E.（著）内田一成（監訳）ヒルガードの心理学（ブレーン出版）							
履 修 上 の 注 意		適切な内容と分量の予習課題を適宜に出すことがある。さまざまな基本的問題を討論し合える、肯定的で積極的な雰囲気の講義にしたい。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		心理学を学問とだけとらえるのではなく、自分や他者の生活を豊かにするための有用な道具でもあると講義担当者は捉えている。その視点で、みなさんの日常生活に密着した問題を取り上げて話し合えるように配慮したい。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)		佐竹真次：g.ssatake@yachts.ac.jp							
連 絡 調 整 担 当 教 員		佐藤寿晃：研究室 37 tsato@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名		学 科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生		
教育学		理学・作業療法学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 渡邊 誠一	選択	2	前期	2	非該当	可		
授業概要		①古代ギリシア、中世キリスト教全盛期、ルネサンス期、近代において身体がどのように考えられてきたか、身体観の歴史的変遷、およびその身体を鍛錬するその目的の歴史的変遷について解説する。 ②近代の教育思想家の感覚、身体の活動、その具体的な活動としての労作・労働を活用した教育論を解説する。 ③普段の生活の教育的意義に注目したキャリア教育の職業教育上の意義について解説する。									
一般目標		①感覚の活動、身体の活動、作業・労働・遊びなどは身体的・精神的発達にどのような役割を果たしているか理解する。 ②身体・感覚の活動、具体的な活動としての労働や労作、遊びを教育の手段・方法として採用した過去のエデュケーション論を学習し、今後の自分の患者指導でどのように活用できるか理解する。 ③学習の理論と最近の職業教育論（キャリア教育）について理解し、日常生活の過ごし方の参考にすること。									
到達目標		①著名な教育思想家のエデュケーション論が、どのような発達観（学習観）に基づいているか理解し、説明できる。 ②身体・肉体や感覚が歴史的にどのように理解されてきたか、また、それらの活動を活用した教育方法について理解し、それが自分の今後の指導法としてどの程度活用できるか理解できる。 ③現在の専門職・高度専門職業人として求められている能力資質がどのようなものであるか理解すること。									
成績評価方針 評価方法 および基準		具体的には、中間・期末の2回の試験と授業態度で評価すること。 中間試験：19世紀までの教育思想家のエデュケーション論とその根拠とした身体観など 期末試験：20世紀のエデュケーション論、及び学習理論や昨今の職業教育論 合格基準は、2回の試験と授業中の発言等（20点満点）の合計点が60点以上であること。									
授業計画											
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法				授業外 学習 など	担 当			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	5. 4. 14(金)4 5. 4. 21(金)4 5. 4. 28(金)4 5. 5. 12(金)4 5. 5. 19(金)4 5. 5. 26(金)4 5. 6. 2(金)4 5. 6. 16(金)4 5. 6. 23(金)4 5. 6. 30(金)4 5. 7. 7(金)4 5. 7. 14(金)4 5. 7. 21(金)4 5. 7. 25(火)4 5. 7. 28(金)4	授業(内容・目標・方法)の説明 古代ギリシアの市民の育成法 中世キリスト教全盛期の教育法 ルネサンス期の感覚観と教育方法 ロックの健康教育論 ルソーの人間教育論 ペスタロッチの教育方法論 フレーベルの教育方法論 ケルシェンシュタイナーの教育論 デュエイの教育方法論 モンテッソーリの教育方法論 クループスカヤの総合技術教育論 代表的な学習理論 最近の職業教育論 まとめ	身体の活動と脳の知的・精神的発達との関係 古代ギリシアの市民育成としての身体(body)鍛錬 中世の肉体(flesh)観とむち打ちによる教育 感覚重視の思潮と感覚を活用した教育法 「健康な身体に健全な精神が宿る」の背景 人間修行としての指物師(職人)修業による教育 実物教授(直観教授)法による事物・社会認識のエデュケーション 遊び(自己表現活動)による全面発達のエデュケーション 労作教育による公民教育 コミュニティ化した学校での生活による教育 感覚教育を通しての知的教育 労働と教育を結合させた社会主義教育論 行動主義の学習理論と認知理論に基づく学習理論 職業・社会的自立を意図した新しいキャリア教育 感覚活動・身体活動・労働の発達に果たす役割				配付した プリントに よる復 習	渡 邊			
教 科 書 参 考 図 書		教科書は、特に使用しない。授業資料は、毎回プリントして配付すること。 参考書は、『系統看護学講座 教育学』(医学書院) 新井保幸編著『教育基礎学』(培風館)									
履 修 上 の 注 意		特になし。復習は配付プリントを読みなおしてください。									
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		現在、教育といえば、知識の教育が中心に考えられているが、身体健康や肉体・感覚の訓練・教育が精神的・知的健康、心身の発達にもたらす意義が軽視されている。そこで、作業療法や理学療法を学ぶ学生諸君は、身体健康が心の健康と知的・精神的発達にもたらす意義をしっかりと学習し、それを一般の人に広くひろめていただきたい。									
e-mail・研究室 (連絡先)		渡邊誠一: seiichi48@kxe.biglobe.ne.jp									

授 業 科 目 名		学 科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
哲学		三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 小原 拓磨	選択	1	後期	2	非該当	可
授業概要		哲学の方法や問題に関わるいくつかのトピックにそくして「哲学的に考える」「哲学をする」とはどんなことなのかを考えていく。また、自分と異なる視点で物事に触れることで自己反省を促し、自分の価値観と他者の価値観を客観的に公正に観察できるようになることを目標とする。							
一般目標		〈「哲学をする」とは何をどうすることなのか〉を理解し、物事を一步下がって、あるいは一步踏み込んで深く考えるための〈教養〉を身につける。							
到達目標		・例示された哲学上の話題，哲学的な思考法に触れてそれになじみ，哲学とはどんな活動なのか，そのイメージを持つことができる。 ・他人の意見を知り，様々な見解・異なった〈ものの見方〉があるということを理解することができるようになる。 ・自分自身の考えを適切に表現し，それを他人に伝えることができる。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準		学期末におこなうレポート（70％）と、授業後（不定期）におこなうコメントペーパーへの記述内容（30％）とをあわせて評価する。期末レポートについては、上記「一般目標」および「到達目標」に記載の目標を達成できているかどうかを総合的に判断し、評点をつける。							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法		授業外学習など			担当	
1	5. 9. 29 (金) 2	イントロダクション	「哲学」とはどんな学問か？		・参照指示した資料・テキストの読解。 ・分からなかった用語などを自分なりに調べてみる。			小原	
2	5. 10. 6 (金) 2	環境との共生	映画監督宮崎駿の自然観を知る						
3	5. 10. 13 (金) 2	正義論	正義の暴力						
4	5. 10. 20 (金) 2	衣服の現象学	ファッションと化粧の意義						
5	5. 10. 27 (金) 2	消費とショッピング	記号と欲望の地平で人間を見る						
6	5. 11. 10 (金) 2	外見と内面	演技（ふり）の効果						
7	5. 11. 17 (金) 2	自己性（1）	私（自我、自己）とはなにか？						
8	5. 12. 1 (金) 2	自己性（2）	鏡と無意識						
9	5. 12. 8 (金) 2	人間性	映画をもとに人間の本質を考える						
10	5. 12. 15 (金) 2	言葉と人間	人間と言語の関係を知る						
11	5. 12. 22 (金) 2	死	死についての思想を学ぶ						
12	6. 1. 5 (金) 2	宗教とＱＯＬ	信仰に生きる人生を知る						
13	6. 1. 12 (金) 2	コミュニケーションと看護	コミュニケーションの本質を考える						
14	6. 1. 19 (金) 2	障害と社会（1）	社会の優生思想を知る						
15	6. 1. 26 (金) 2	障害と社会（2）	異文化共生社会とは？						
教 科 書 参 考 図 書		毎回、資料を配布する。参考文献はそのつど紹介する。							
履 修 上 の 注 意		出席回数が9回以下の場合には単位を認定しない。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		哲学とは「疑問をもつこと」そして「考えること」を基本とする学問です。この授業では、普段あたりまえのこととして見過ごされている身の回りの物事についてあらためて問いを立て、考察してみます。そのように「当たり前のことをあらためて考えてみること」に関心のある方の受講をお待ちしています。							
e-mail・研究室 （ 連 絡 先 ）		小原拓磨：e1141208@g.tohoku-gakuin.ac.jp							

授業科目名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生				
自然科学	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 遠藤 龍介 (物理) 官 宏 (化学) 菱沼 佑 (生物)	看・理一必修 作業一選択	1	前期	2	非該当	可				
授業概要	周囲で起こっている科学現象や生命現象を正しく理解する上で必要な物理・化学・生物の基本的原理を、具体的な例や実験を提示しながら講義する。高校での選択科目の違いによって講義の理解度に差が生じない様に、随時復習を行いながら授業を進める。											
一般目標	特に保健医療分野の専門科目を理解していく上で、必要不可欠な自然科学の基礎的理解を深める。											
到達目標	(物理) 日常接する運動、電気、磁気などに関する物理の法則や概念、物事の本質を理解できる。 (化学) 物質の性質や反応について理解を深め、身の回りの現象を科学的に考えることができる。 (生物) 生物の最小単位である細胞の構造や機能、代謝、増殖の仕組みから生命の本質を理解できる。											
成績評価方針 評価方法 および基準	(物理) 試験やレポート、参加状況などを総合的に評価する。 (化学) 試験やレポート、参加状況などを総合的に評価する。 (生物) 試験やレポート、参加状況などを総合的に評価する。											
授業計画												
回	日付	班の割当			授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外 学習など	担当				
		物理	化学	生物								
1 2 3 4 5	5.4.11 (火) 3 5.4.18 (火) 3 5.4.25 (火) 3 5.5. 2 (火) 3 5.5. 9 (火) 3	①	②	③	(物理) 1) 運動と力 2) 仕事とエネルギー 3) 熱とエネルギー 4) 波動 5) 電気と磁気	(物理) 教科書および配付資料により授業を進める。毎回、小テストの実施、または、レポートを課す。		(物理) 遠藤				
6 7 8 9 10	5.5.16 (火) 3 5.5.23 (火) 3 5.5.30 (火) 3 5.6. 6 (火) 3 5.6.13 (火) 3				③	①		②	(化学) 1) 物質の構成① 2) 物質の構成② 3) 物質の状態 4) 物質の変化① 5) 物質の変化②	(化学) 教科書および配布資料により授業を進める。毎回、小テストあるいはレポートを課す。	(化学) 官	
11 12 13 14 15	5.6.20 (火) 3 5.6.27 (火) 3 5.7. 4 (火) 3 5.7.11 (火) 3 5.7.18 (火) 3				②	③		①	(生物) 1) 細胞の構造と機能 2) 細胞膜の構造と機能 3) 細胞呼吸 4) 光合成 5) 細胞分裂	(生物) 配布資料をもとに授業を進める。毎回、小テストあるいはレポート等を課す。	(生物) 菱沼	
教科書 参考図書					(物理) 教科書：廣岡秀明著「大学新入生のための物理入門」(共立出版) (化学) 教科書：有本淳一著「看護系で役立つ化学の基本 第2版」(化学同人) (生物) 特に定めない(毎回資料を配布する)。							
履修上の注意					履修する学生を3班に分け、1班ずつ物理、化学、生物の3項目をそれぞれ受講する。							
学生への メッセージ		化学では「覚える」のではなく、「理解する」を目指して欲しい。 生物では生命現象に関する新聞記事に留意、切り抜きなどをしておくこと。										
e-mail・研究室 (連絡先)		遠藤 龍介 教務学生課 官 宏 教務学生課 菱沼 佑 教務学生課										

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
自然科学演習	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 遠藤 龍介 (物理) 官 宏 (化学) 菱沼 佑 (生物)	理 学ー必 修 看・作ー選 択	1	後期	1	非該当	可
授業概要	日々発展する医学や医療の現場では様々な測定や検査が行われているが、それを遂行するために必要な科学的な計画立案や技法、そして安全管理などを物理学、化学及び生物学の基本的実験を通して習得できる様にする。また実際に装置や器具を用いて自ら実験を行うことにより、自主的態度を培える様にする。高校での選択科目の違いによって実験の習得度に差が生じない様、随時復習や指導を行いながら実験を進める。							
一般目標	特に保健医療の現場で正しく安全に任務を遂行できるための自然科学的技法を養う。							
到達目標	物理学、化学および生物学の基礎的な実験を通して、科学的な原理と思考を体で習得することができる。医療現場で必須な正確で安全な測定法や観察法、データの処理や記録法を習得する事ができる。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	毎回参加することを基本条件とし、レポートあるいは実験ノート（生物では、スケッチ）をもとに総合的に評価する。							
授業計画								
回	日付	班の割当			授業項目・学習課題	学習内容 学習方法	授業外 学習など	担当
1	5. 9. 26 (火) 3	物理	化学	生物	オリエンテーション（班の構成、各実習内容の紹介、安全対策、学生の準備品、レポート提出法など）（講堂）	各担当教員により具体的な基本態度や方法について解説する。		
2	5. 10. 3 (火) 3-4				物理（物理学実験室） 1. 大気圧の実験 2. レンズ、回折格子を用いた光の実験 3. 気柱の共鳴による音速の測定 4. 熱の仕事当量 J の測定と個体の比熱の測定			(物理) 遠藤
3	5. 10. 10 (火) 3-4	①	②	③				
4	5. 10. 17 (火) 3-4							
5	5. 10. 24 (火) 3-4				化学（化学実験室） 1. 化学変化を用いた実験 2. 分析化学に関する実験 3. 無機化学、有機化学に関する実験			(化学) 官
6	5. 10. 31 (火) 3-4	③	①	②				
7	5. 11. 7 (火) 3-4							
8	5. 11. 14 (火) 3-4				生物（基礎生命科学実習室） 1. 顕微鏡の使用法と植物細胞・組織（表皮、気孔、維管束）の顕微鏡観察 2. 植物の原形質流動の観察と流動経路の解析 3. 植物の細胞分裂の観察と細胞膜におけるイオン輸送の観察			(生物) 菱沼
9	5. 12. 5 (火) 3-4	②	③	①				
10	5. 12. 12 (火) 3-4							
教科書 参 考 図 書	実験のためのプリントを配布する。							
履 修 上 の 注 意	履修する学生を3班の班構成に分ける。1班ずつ物理、化学、生物の各実験の3項目をそれぞれ3回行う。9回で全員が9項目の実験を行う。欠席をせず時間を厳守すること。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	受け身の多い講義に比べ、体を動かす実験では科学的な考え方や技術を体得できる。課題を「こなす」のではなく、「取り組む」心構えで楽しみながら積極的に実験に参加して欲しい。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	遠藤 龍介 官 宏 菱沼 佑	教務学生課 教務学生課 教務学生課						

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
数 学		理学療法学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 佐藤 圓治	選択	1	前期	2	非該当	可
授業概要		1 変数の微分積分について学ぶ。微分積分は、17 世紀に、ニュートン、ライプニッツにより理論づけられた数学であり、運動理論や日常生活で使われる面積や長さのきちんとした説明は、微分積分を用いて初めて理解できる。最初に数列や関数の極限を学ぶ。その後、微分概念を学習し、いろいろな関数の微分とその応用について学ぶ。後半は、面積概念の延長にある積分について学習し、様々な関数の積分とその応用について学ぶ。本授業は、教科書内容にプリントで補充した内容を加えて、一通りの1 変数の微分積分の内容を網羅している。これらの学習は、具体的に次のようなことを含む：統計で最も重要である正規分布のグラフの概形を微分の学習により描くことができる。各種分布に現れるガンマ関数についても学ぶ。面積概念(定積分)は、度数の分布が平均に集まっているか否か(平均と標準偏差の関係)の理解に供するものである。また、曲線のパラメータ表現の学習によりカージオイド(心臓形)の面積を求め、その縁の長さを求める。更に、CT スキャンの発想の原点である数学者フーリエの考え方をフーリエ級数と共に学ぶ。これらのことから、微分積分の内容は、現代社会の教養として資することにもなる。							
一般目標		・ 極限の概念を理解することにより、微分概念を把握すること。 ・ 極限の概念及び微分概念の理解により、面積概念の理解や積分の計算ができるようにする。							
到達目標		受講生は、本授業に熱心に取り組むことで理論的思考を養い、問題解法の能力を涵養することが大切である。							
成績評価方針 評価方法 および基準		演習、レポート提出、小テスト、試験等で総合的に評価する。 定期試験 60%、演習、レポート提出、小テストは 40%の割合。							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題		学習内容・学習方法		授業外学習など		担当	
1	5. 4. 11 (火) 4	関数とその性質		講義・演習・小テスト等を通して、いろいろな関数の微分や積分の計算が行える能力を養う。その過程において、数学的な考え方を身につける。		予習・復習を積極的に行い、演習問題等を自ら解くことが重要である。		佐藤	
2	5. 4. 18 (火) 4	三角関数について							
3	5. 4. 25 (火) 4	指数関数と対数関数							
4	5. 5. 2 (火) 4	関数の極限							
5	5. 5. 9 (火) 4	微分について							
6	5. 5. 16 (火) 4	導関数の性質について							
7	5. 5. 23 (火) 4	微分の応用について							
8	5. 5. 30 (火) 4	三角関数の微分について							
9	5. 6. 6 (火) 4	指数関数と対数関数の微分							
10	5. 6. 13 (火) 4	積分について							
11	5. 6. 20 (火) 4	定積分について							
12	5. 6. 27 (火) 4	いろいろな関数の積分							
13	5. 7. 4 (火) 4	面積と回転体の体積							
14	5. 7. 11 (火) 4	図形のパラメータ表示							
15	5. 7. 18 (火) 4	曲線の長さについて							
教 科 書 参 考 図 書		教 科 書：石村園子著 微分積分入門 共立出版 参考図書：隈部正博著 初歩からの数学 放送大学教育振興会、 山形大学数理科学科編 微分積分入門 裳華房 小林昭七著 微分積分読本 裳華房							
履 修 上 の 注 意		予習・復習を必ず行うこと。演習問題を自ら解くことは、数学を理解する上で大切である。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		積極的に予習復習を行って授業を受けることが大切である。講義を通して、学問(数学)が創造されていく過程を学んで、その考え方を数学以外の学問に応用してください。微分積分の内容は、今日の複雑な社会を理解するための教養として必要と思われるので、そのことを意識して、積極的な姿勢で授業に臨んでください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)		教務学生課							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
統 計 学	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 水原 昂廣	看 護－選択 理・作－必修	1	後期	2	非該当	可
授業概要	古典的な記述統計学について基本概念の概説から始める。つぎに必要な最低限の確率論を復習し、それを用いて、推測統計学の基本的考え方と基本例題の解き方を丁寧に解説・説明する。							
一般目標	記述統計と推測統計の基本的な考え方を理解する。また、統計処理について、適切なデータの収集法および整理・表現法が選定できる。さらに、データの持つ特性について適切な解釈ができる。							
到達目標	次の基本概念・用語を理解し、説明ができる： 記述統計と推測統計、統計表と統計図、代表値と散布度、2変数データの表現、 相関分析と回帰分析、事象と確率、確率変数と確率分布、母集団と標本分布、 母数の点推定と区間推定、母数に関する仮説の検定、パリメトリックとノン・パラメトリック。 また関連する定義と公式を理解し、それを用いて、具体的な計算ができる。 さらに、得られた結果を考察し、適切に解釈できる。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	毎時間のレポート提出（15 回分）および2回のテストの結果から、次のように評価する： ① 問題演習のレポート（毎時間）・・・20％ ② 中間テスト（自筆のノートとレポート、配布資料、および電卓の持ち込み可能）・・・40％ ③ 期末テスト（自筆のノートとレポート、配布資料、および電卓の持ち込み可能）・・・40％ この3つを合わせ、100点満点として評価する。60点以上を合格の基準とする。							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習 など	担当	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	5. 9. 27 (水) 3 5. 10. 4 (水) 3 5. 10. 11 (水) 3 5. 10. 18 (水) 3 5. 10. 25 (水) 3 5. 11. 1 (水) 3 5. 11. 8 (水) 3 5. 11. 15 (水) 3 5. 11. 22 (水) 3 5. 12. 6 (水) 3 5. 12. 13 (水) 3 5. 12. 20 (水) 3 6. 1. 10 (水) 3 6. 1. 17 (水) 3 6. 1. 24 (水) 3	記述統計と推測統計 統計表と統計図 代表値と散布度 2変数データの表現 相関分析と回帰分析 記述統計のまとめ 事象と確率 確率変数と確率分布 母集団と標本分布 確率論のまとめ 区間推定(その1) 区間推定(その2) 仮説検定(その1) 仮説検定(その2) 推測統計のまとめ	統計学の記述・推測の方法の違いを理解する。 分類・整理と要約・表現の手法を身につける。 定義と公式を理解し、電卓で計算する。 2変数データの処理を身につける。 定義・概念および公式を理解し、電卓で計算する。 記述統計の内容をまとめる。 定義・概念を理解し、公式を適用する。 定義・概念を理解し、具体例が説明できる。 定義・概念を理解し、具体例が説明できる。 確率論の内容をまとめる。 大標本で母平均の区間推定を行う。 小標本で母平均の区間推定を行う。 大標本で母平均について、仮説検定を行う。 小標本で母平均について、仮説検定を行う。 区間推定と仮説検定の手順内容をまとめる。				水原	
教 科 書 参 考 図 書		教科書 水原 昂廣・宇野 力 共著「例題中心 確率・統計入門」改訂版 学術図書、2019 参考書 大水秀一 著「基本からわかる 看護統計学入門」医歯薬出版株式会社、2008 参考書 涌井良幸・涌井貞美 共著「統計学の図鑑」技術評論社、2015						
履 修 上 の 注 意		① 高校数学の「数学Ⅰ・数学A」程度の知識を仮定する。 ② 授業に必要なもの：教科書・ノート・電卓の3点セット。 ③ 90分のうち、60分を講義、残りの30分を問題演習にあてる。						
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		① 毎回、講義資料(講義要項と演習問題および統計資料)を配布する。 ② 授業では、上記の3点セット(教科書・ノート・電卓)を忘れないこと。 ③ 原則として、毎回提出するレポートは採点して次回に返却するので、各自ファイルしておくこと。 ④ 実際に問題演習を通して、一緒に皆で統計学を楽しみましょう。						
e-mail・研究室 (連 絡 先)		水原昂廣：duo20and35ikoetx@eos.ocn.ne.jp						

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
環境学	看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	2	後期	2	非該当	不可
授業概要	放送大学が開講する「 環境問題のとりえ方と解決方法（'17） 」を受講する。 地域から地球に至るまでの環境問題の諸側面を様々な視点からとらえるとともに、その解決方法 に関して基礎的かつ広範な視点を学習する。このため、人の健康、人の利用、さらには生態系保全 といった環境問題の諸側面、都市、地域、国際、地球といった地域の広がりを対象とした環境問題 のとりえ方について学ぶ。また、原因の同定から解決のための技術の概要について解説する。さら に、大気汚染、水質汚濁、都市環境といった身近な環境問題から、安全・安心、循環型社会、自然 共生社会、低炭素社会という現代の環境問題のとりえ方についても解説する。							
一般目標 到達目標	環境問題の諸側面を様々な視点からとらえるとともに、その解決方法に関して基礎的かつ広範な視 点を理解するとともに、身近な環境問題から地球環境に至るまでの新しい環境に関する考え方を理 解する。							
成 績 評 価 方 針 評 価 方 法 お よ び 基 準	放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする。							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題			学習内容・方法		授業外学習	担当
1	オンデマンド	環境問題のとりえ方と解決方法のフレームワーク			詳細は、放送大学シラバスを参照			
2		環境問題のとりえ方						
3		環境問題の発生原因とその解決方法						
4		環境の望ましい状態						
5		環境の指標、モニタリングと評価の方法						
6		大気環境保全技術						
7		水・地下水・土壌環境保全技術						
8		廃棄物処理・資源保全技術						
9		大気に関する環境問題とその解決方法						
10		水・地下水・土壌に関する環境問題とその解決方法						
11		廃棄物に関する環境問題とその解決方法						
12		都市のヒートアイランド現象とその対策						
13		化学物質に関する環境問題とその解決方法						
14		生態系における環境問題とその解決方法						
15		地球環境問題とその解決方法						
教 科 書 参 考 図 書	教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履 修 上 の 注 意	放送大学「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」をオンデマンドで受講する。 環境学として、「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」「環境と社会（'21）」「人文地理学か ら見る世界（'22）」「環境問題のとりえ方と解決方法（'17）」を2科目以上選択することはでき ない。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	環境は、人や地域全体の健康に大きな影響を及ぼします。視野を広めてください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	担当教員、教育補助教員 沼澤さとみ：研究室 11 snmazawa@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
環境学	看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	2	後期	2	非該当	不可
授業概要	放送大学が開講する「 地球温暖化と社会イノベーション（'18) 」を受講する。 温暖化に代表される地球環境問題は人類ならびに地球全体の問題である。これまで、温暖化の原因研究や将来の影響予測等とともに、緩和策・適応策に関する研究や議論がI P C CやC O Pの場で長く行われてきた。そして、2015年C O P 21「パリ協定」が締結され、ようやく途上国、先進国が一丸となって、温度上昇の目標設定、緩和量の各国目標設定、資金提供、これらに対する観測、報告、評価などに向けて初めての一貫した方針が出された。本講座では、これまでの地球温暖化問題の研究の歴史とともに研究成果を整理した後、政府、企業、研究機関、市民それぞれの現在の取り組み内容を俯瞰し、この問題解決のために人類が取り得る行動とその可能性について考える。							
一般目標 到達目標	地球環境問題（特に地球温暖化）を科学的に正しく理解した上で、これまでの地球温暖化防止に向けた国際社会、政府、企業、市民の取り組みを俯瞰し、自治体や民間企業で行われている先進的な試みについて理解を深める。 更に、大幅な温室効果ガス削減のための研究実証事例や期待できる成果を理解する。 最終的には、受講生ひとりひとりがこれらを自身の問題と捉え、問題解決に向けてもっとも納得できる行動に結びつける。							
成 績 評 価 方 針 評 価 方 法 お よ び 基 準	放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする。							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題			学習内容・方法		授業外学習	担当
1	オンデマンド	パリ協定と地球温暖化対策の課題			詳細は、放送大学シラバスを参照			
2		地球環境問題と地球温暖化						
3		地球温暖化の予測と影響						
4		地球温暖化 ー大気組成変化とその観測ー						
5		地球温暖化 ー地球温暖化の緩和と将来予測ー						
6		地球温暖化の影響と適応						
7		問題解決への取り組み（1） 日本の取り組みと国際、国内合意形成						
8		問題解決への取り組み（2） ステークホルダーとその役割						
9		産業界の取り組み（1） 1次エネルギー						
10		産業界の取り組み（2） 水素社会と炭素隔離						
11		産業界の取り組み（3） 環境にやさしいさまざまな要素技術						
12		緩和と適応の国際協力						
13		ICT とスマート化による環境貢献						
14		みんなで地球環境を守る（1）地球環境保全に向けて						
15		みんなで地球環境を守る（2）地球市民としてのチャレンジ						
教 科 書 参 考 図 書	教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履 修 上 の 注 意	放送大学「地球温暖化と社会イノベーション（'18)」をオンデマンドで受講する。 環境学として、「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」「環境と社会（'21）」「人文地理学から見る世界（'22）」「環境問題のとりえ方と解決方法（'17)」を2科目以上選択することはできない。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	環境は、人や地域全体の健康に大きな影響を及ぼします。視野を広めてください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	担当教員、教育補助教員 沼澤さとみ：研究室 11 snmazawa@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
環境学		看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	2	後期	2	非該当	不可
授業概要		放送大学が開講する「 環境と社会（' 21）」 を受講する。 環境を巡る社会のあり方について、生態学、経済学、法学の3つの学問分野から取り上げ、環境問題に関する総合的な学習をする。							
一般目標 到達目標		3つの学問分野のそれぞれの観点を含め、環境問題に関して、一定レベルの総合的な理解を得ることを目標とする。							
成績評価方針 評価方法 および基準		放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題				学習内容・方法		授業外学習	担当
1	オンデマンド	さまざまな地球環境問題				詳細は、放送大学シラバスを参照			
2		気候変動の原因と影響							
3		生物多様性と生態系サービス							
4		森林の持続的利用							
5		環境問題と地域の持続可能性							
6		環境経済学の基礎							
7		環境政策の経済的手段とポリシー・ミックス							
8		環境政策における経済的手段の理論と実際							
9		再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）							
10		環境問題と経済成長							
11		環境における法の役割							
12		環境基本法と環境法の理念・原則							
13		個別環境法の仕組みと環境影響評価法							
14		環境訴訟							
15		原発規制と放射性物質による汚染への対処							
教科書 参考図書		教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履修上の注意		放送大学「環境と社会（' 21）」をオンデマンドで受講する。 環境学として、「地球温暖化と社会イノベーション（' 18）」「環境と社会（' 21）」「人文地理学から見る世界（' 22）」「環境問題のとりえ方と解決方法（' 17）」を2科目以上選択することはできない。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		環境は、人や地域全体の健康に大きな影響を及ぼします。視野を広めてください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)		担当教員、教育補助教員 沼澤さとみ：研究室 11 snumazawa@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
環境学	看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	2	後期	2	非該当	不可
授業概要	放送大学が開講する「人文地理学からみる世界（'22）」を受講する。 大学レベルの人文地理学初学者のための入門として、人文地理学に特有の見方・考え方を身につけることを目標に、世界や日本の多彩な事例をとりあげながら、わかりやすく解説する。導入部分につづいて、まず環境と人間の関係をとらえるためのいくつかの研究視角を紹介し、さらに都市と空間へのアプローチへと進む。その際、環境問題や災害・防災、都市化、グローバル化、少子高齢化といった現代的課題に言及する。また、近年急速に発展してきたGIS（地理情報システム）の考え方や応用例を紹介し、現代社会の分析における可能性を示す。							
一般目標 到達目標	人文地理学に特有の見方・考え方を身につけるとともに、変化の急速な社会の理解に有用な地理学的分析の枠組みや手法について概観を得る。またこれらの理解の上に、現代的問題へのアプローチの方法に接することをめざす。あわせて、高等学校までの地理のイメージのリニューアルをはかりたい。							
成績評価方針 評価方法 および基準	放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題			学習内容・方法		授業外学習	担当
1	オンデマンド	人文地理学はどんな学問か？			詳細は、放送大学シラバスを参照			
2		地図とGISの発展						
3		人間と環境をむすぶ文化の役割						
4		環境への文化的な適応としての焼畑						
5		熱帯林の開発と環境問題						
6		河川生態系の資源利用と環境動態						
7		先住民の地図と環境利用						
8		治水と利水の環境改変史						
9		都市と災害						
10		世界都市の都心空間						
11		都市空間とエスニシティ・観光						
12		大都市における子育てと働き方						
13		大都市高齢者の居住安定と福祉						
14		大都市郊外の持続再生とその担い手						
15		人文地理学の系譜と進化						
教科書 参考図書	教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履修上の注意	放送大学「人文地理学からみる世界（'22）」をオンデマンドで受講する。 環境学として、「地球温暖化と社会イノベーション（'18）」「環境と社会（'21）」「人文地理学から見る世界（'22）」「環境問題のとらえ方と解決方法（'17）」を2科目以上選択することはできない。							
学生への メッセージ	環境は、人や地域全体の健康に大きな影響を及ぼします。視野を広めてください。							
e-mail・研究室 (連絡先)	担当教員、教育補助教員 沼澤さとみ：研究室11 snumazawa@yachts.ac.jp							

授業科目名	学科 (科目区分)	担当教員 職・氏名	必修・選択の別	学年	開講時期	単位数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
生命倫理学	理学・作業療法学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 平田 俊博	理 学一選択 作 業一必修	1	前期	2	非該当	可
授業概要	生命倫理学が患者中心の医療を目指すという点で、一種の人権運動であることを理解させたい。コロナ・パンデミックに襲われている人類は、今後も多種多様な新ウイルスとの共生を覚悟しなければならない。さらにウクライナ侵攻戦争も重なり、全世界の社会構造全体が大変革を迫られている現在、医療界も抜本的な改革を避けられない。感染症対策が喫緊の重大課題となるにつれ、生命倫理学は医療倫理学の枠を超え、地球環境倫理学、保健衛生倫理学、デジタル倫理学をも射程に収める。学際的な哲学として内容を一新するのである。患者と家族を含む医療関係者全員の人権と幸福も確保しつつ、どのようにして医療崩壊を防ぎ、安全安心な家庭と社会を築くべきかを、聴講者と共に考えていきたい。							
一般目標	最新の医療問題について考察を深めながら、医療者としての倫理的自覚を高める。また医療がチームプレーであることを認識して、職種間の連携や医療システムにおける実践力とは何かを理解する。							
到達目標	①哲学としてのバイオエシックス(生命倫理学と地球システム倫理学と医療倫理学)、②コロナ・パンデミックと医療事故(クラスターとシステムズ・アプローチ)、③環境ホルモンの脅威(合成化学物質と地球生態系の危機)、④デジタル時代の倫理(進行性近視、遺伝子治療、着床前診断、未来世代の人権)、⑤人体と死(臓器売買、脳死移植と家族、死の自己決定、延命中止、末期医療と葬送儀礼)、以上の5つの到達目標について正確に認識し、他人に説明できる。							
成績評価方針 評価方法 および基準	成績評価方針：到達目標の各項目について、正確に認識し、他人に説明できるかを評価する。 評価方法：定期試験 70% (中間 10%・期末 60%)、授業内レポート(4回以上提出し、高評価の上位4回分を評価対象とする)20%、授業内プレゼンテーション 10%。以上の合計 100 点満点として評価する。 評価基準：定期試験では、到達目標の各課題を正確に理解し、他人にも明確に伝達できるかを評価。レポートでは、キーワードの的確さ、要旨、感想、提言の説得力を重視。プレゼンテーションでは、各自にレポートを発表してもらい、明確な発声力、伝達力、質疑力を重点的に評価する。							
授業計画								
回	日付	授業項目学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当			
1	5. 4. 12 (水) 3	哲学としての生命倫理学	バイオエシックスの多義性	レポート①、平田「カントと生命倫理」	平田			
2	5. 4. 19 (水) 3	地球環境危機と医療①コロナ・パンデミック	院内感染とクラスター、医療崩壊、介護崩壊、医療者と家族へのいじめ	レポート②、NIE「最新の医療報道」				
3	5. 4. 26 (水) 3	地球環境危機と医療②ウィズ・コロナ時代の生命倫理	デジタル医療、外来トリアージ、後遺症、葬送儀礼と患者家族	レポート発表、NIE「最新の医療報道」				
4	5. 5. 10 (水) 3	地球環境危機と医療③生命観、人生観、生活観の変貌	地球生態系の激変、残留性化学物質と人体汚染、感染症蔓延と保健衛生倫理	レポート③、コルボーン『奪われし未来』				
5	5. 5. 17 (水) 3	医療者の人権と安全①健康生活、奴隷労働からの解放	ビデオ「燃え尽き症候群と対策」、プレゼンテーションと質疑応答	レポート発表、NIE「最新の医療報道」				
6	5. 5. 24 (水) 3	医療者の人権と安全②事故とシステムズ・アプローチ	医療ミスと医療事故、職種間の連携、リスクマネジメント、中間試験	レポート発表、NIE「最新の医療報道」				
7	5. 5. 31 (水) 3	医療者の人権と安全③デジタル医療と進行性近視	AI 社会とリモート診察、乳幼児斜視、進行性近視、成人発症近視、	レポート④、NIE「最新の医療報道」				
8	5. 6. 7 (水) 3	生殖医療と命の責任①フェミニズムと母性	フェミニズムとジェンダー・サイエンス、LGBT とモザイク脳と月経、	レポート⑤、NIE「最新の医療報道」				
9	5. 6. 14 (水) 3	生殖医療と命の責任②不妊治療と着床前診断	晩婚化と環境ホルモン、ビデオ「卵子の老化、精子の劣化」、ヤングケアラー	レポート発表、NIE「最新の医療報道」				
10	5. 6. 21 (水) 3	生殖医療と命の責任③命の選別とデザイナーベビー	優生学と遺伝子治療、ビデオ「オーダーメイドベビー」、未来世代の人権	レポート⑥、NIE「最新の医療報道」				
11	5. 6. 28 (水) 3	臓器移植①匿名の原則と家族の同意	ビデオ「日本の脳死移植」、プレゼンテーションと質疑応答	レポート⑦、NIE「最新の医療報道」				
12	5. 7. 5 (水) 3	臓器移植②グローバル化する臓器売買	臓器移植の諸問題、プレゼンテーションと質疑応答	レポート⑧、NIE「最新の医療報道」				
13	5. 7. 12 (水) 3	救急医療と延命中止一末期医療と葬送儀礼	ビデオ「死ぬ権利—ALS 装着」、プレゼンテーションと質疑応答	レポート⑨、NIE「最新の医療報道」				
14	5. 7. 19 (水) 3	安楽死と尊厳死—再生観と宗教	ホスピタルとホスピス、ビハーラ、ビデオ「看護師僧侶」、「ホスピス看護師」	レポート⑩、NIE「最新の医療報道」				
15	5. 7. 26 (水) 3	講義全体のまとめ	最終試験問題の発表と説明、ビデオ「コロナ後遺症」	期末試験の問題対策				
	後日連絡	最終試験	到達度を評価	返却答案を各自チームメイトと見比べる				
参 考 図 書	◎ (平田他)『カントと生命倫理』(晃洋書房)、◎コルボーン他『奪われし未来』増補改訂版(翔泳社)、◎上野千鶴子『家父長制と資本制』(岩波現代文庫)。◎新聞(図書館)の医療記事(NIE)を活用。							
履 修 上 の 注 意	出席・レポート・プレゼンテーション・対話を通して、コミュニケーション力のスキルアップを!!							
学生へメッセージ	Think globally, act locally!							
e-mail・連絡先	平田俊博：thirata@taupe.plala.or.jp 質問や意見があればお知らせ下さい。							

授 業 科 目 名	学 科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生		
スポーツ学	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 井上 功一郎	選択	1	後期	2	非該当	可		
授業概要	・スポーツ科学および体育学の基礎知識に関する講義を行う。 ・各種スポーツのゲーム（試合）を教材とし、身体を動かす実技を実施させる									
一般目標	・スポーツや体育、身体運動は、理論的に考察できることを認識する。 ・各種スポーツに親しむことで、スポーツを主体的に実践する能力を習得する。									
到達目標	・スポーツと健康の関係や、身体のメカニズムとスポーツの関連について、簡単に議論する。 ・各種スポーツの基本的な特性や技術、初歩的なルールについて説明する。 ・スポーツゲームの高まりや、身体を動かすことの楽しさを感じ、主体的に取り組む。									
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	・関心を持ち講義に参加する態度：30％ ・意欲的に実技に取り組む姿勢：50％ ・レポート課題：20％									
授業計画										
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法		授業外学習など		担当			
1	5. 9. 26（火）1・2	スポーツと健康	スポーツと健康の関連と、日々の身体活動の重要性について講義をする。		自身の身体活動の現状を把握する。スポーツと健康の関わりについて考えを用意する。		井上			
2	5. 10. 3（火）1・2	バレーボール	チームを編成し、それをベースに、バレーボールの理論やルールの学習、ゲームの実践を行う。 チーム内の積極的なコミュニケーションをもとに実技に取り組むことを求める。		これまでの学校教育（体育）を振り返り、バレーボールやバドミントン、卓球のルールや技術について予め確認しておく。 実技に際して、授業前に自身の体調を確認し、運動できる状態かどうか判断する。 水分やタオル、着替えなどを準備し、発汗への対応や体温調節ができるようにしておく。 日常的に運動に取り組み、各自の体力向上に努めることが望ましい。					
3	5. 10. 10（火）1・2	バレーボール								
4	5. 10. 17（火）1・2	バレーボール								
5	5. 10. 24（火）1・2	バレーボール								
6	5. 10. 31（火）1・2	バレーボール								
7	5. 11. 7（火）1・2	バドミントン／卓球	2つのグループを編成し、交代しながらバドミントンと卓球を3回ずつ行なう。 各種目において、理論やルールの学習、ゲームの実践を行う。 グループ内でコミュニケーションを取り、各種目に積極的に取り組むことを求める。							
8	5. 11. 14（火）1・2	バドミントン／卓球								
9	5. 12. 5（火）1・2	バドミントン／卓球								
10	5. 12. 12（火）1・2	卓球／バドミントン								
11	5. 12. 19（火）1・2	卓球／バドミントン								
12	5. 12. 26（火）1・2	卓球／バドミントン								
13	6. 1. 9（火）1・2	スポーツと骨格筋	スポーツに関わる骨格筋の機能と役割について講義をする。				つながりのある専門科目の内容を振り返ったり、関連する知識について調べたりする。 実体験に照らし合わせて講義内容について考察したり、関連の内容について考えを展開する。			
14	6. 1. 16（火）1・2	スポーツと心肺機能	スポーツに関わる呼吸循環器系の機能と役割について講義をする。							
15	6. 1. 23（火）1・2	身近なスポーツ・健康科学	身近な健康・スポーツ科学を例に講義をする。							
教 科 書 参 考 図 書	必要があれば授業内に示す。									
履 修 上 の 注 意	授業全体について ・体育館での実技、教室での講義がある。授業形態をよく理解した上で履修すること。 体育館での実技について ・運動ができる服装（運動着及び室内シューズ）を着用のこと。 ・受講者全員が楽しむことができるよう、周囲に気を配り、考えてプレーすること。 ・受講人数などによって内容を一部変更する場合がある。 講義について ・本授業は講義を含むことで2単位の授業として開講している（仮にスポーツの実技のみで15回実施する場合は通常1単位）。 ・実技だけでなく講義、及びレポート課題にも積極的に取り組むこと。									
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	スポーツ科学や体育学も、医学と同様に身体を対象とした学問です。皆さんが持つ身体に関する専門知識をスポーツに当てはめて考えてみましょう。 適度な運動が、心身に良い影響を及ぼします。体を動かす機会を持ちましょう。									
e-mail・研究室 (連 絡 先)	井上 功一郎：inoue@e.yamagata-u.ac.jp 山形大学									

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生		
経 済 学		三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 立 松 潔	選択	1	前期	2	非該当	可		
授業概要		経済学と聞くと、「大切そうな分野だけれど、堅苦しくて取っつきにくそう」と考えている人が多いのではないのでしょうか。この講義はそんな人に経済学の面白さを知ってもらうように内容を工夫しました。身近な話題やエピソードなどを取り上げながら、経済学の基本的な考え方を講義します。そして現代社会の重要な経済問題についても、関心と理解を深める授業にしたいと思います。									
一般目標		食文化と風土、雇用や労働、人口問題、社会保障など身近で重要な問題を考えることによって、社会において経済が果たしている役割や経済法則、経済政策についての理解を深めます。									
到達目標		・社会経済的な出来事や現象について、その背景や原因について考え、説明できるようになります。 ・現在日本が直面する社会経済的諸問題を多面的な視点から理解し、説明できるようになります。									
成績評価方針 評価方法 および基準		・レスポンスカード：20%。授業を聞いて興味深いと感じた内容や、疑問に感じた内容について書いてもらうことで、授業への意欲や参加状況を評価します。 ・ショートレポート：20%。与えられたテーマについて、レポートの技法に従ってわかりやすく記述されているかどうかを評価します。(レポートの技法についてはあらかじめ授業で説明します。) ・期末試験：60%。講義内容について理解し、わかりやすく説明できるかどうかを評価します。 ・上記3項目合計100点満点で評価します。									
授業計画											
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習など		担当			
1 2 3 4	5.4.10(月)2 5.4.17(月)2 5.4.24(月)2 5.5.1(月)2	1. 食文化の経済学	気候風土による食文化の違い、宗教による食のタブーなどの事例を取りあげ、食生活・食文化と経済の関係を学習します。			高校の地理の教科書・参考書などを利用して世界の各地の気候風土の違いと生活への影響を調べてみましょう。		立松			
5 6 7 8	5.5.8(月)2 5.5.15(月)2 5.5.22(月)2 5.5.29(月)2	2. しごとの経済学	欧米諸国とは大きく異なる日本の雇用や賃金制度の特色や問題点、改革に向けた課題など、学生の皆さんの将来にも密接に関係するテーマについて勉強します。			ご両親や親戚・先輩・友人などから仕事についての話を聞いて、やりがいや問題点についてまとめてみましょう。					
9 10 11	5.6.5(月)2 5.6.12(月)2 5.6.19(月)2	3. 人口の経済学	人口問題を歴史的に取り上げて理解するとともに、現在の日本で急速に進む少子高齢化と人口減少の背景やそれらが引き起こす諸問題について、対策も含め検討します。			少子高齢化や人口減少によって引き起こされているいろいろな問題を調べ、その対策についても考えてみましょう。					
12 13 14 15	5.6.26(月)2 5.7.3(月)2 5.7.10(月)2 5.7.24(月)2	4. 安心の経済学	保険の仕組みや社会保険制度について学習し、公的年金や健康保険など日本の社会保障制度の直面する課題を明らかにし、その解決策を考えます。			年金制度、医療問題や医療保険に関する新聞記事を見つけ、その内容をまとめてみましょう。					
教 科 書 参 考 図 書		・教科書はありませんので、レジュメ（授業内容の要約）や講義資料を配布します。 ・参考図書は授業で随時紹介しますが、まず以下の4冊を推薦したいと思います。 1. マーヴィン・ハリス『食と文化の謎』岩波現代文庫、2001年、1160円＋税 2. 濱口桂一郎『若者と労働』中公新書ラクレ、2013年、880円＋税 3. 筒井淳也『仕事と家族』中公新書、2015年、780円＋税 4. 山崎史郎『人口減少と社会保障』中公新書、2017年、880円＋税									
履 修 上 の 注 意		・教科書はありませんので、授業内容をノートや配布資料にメモしておくことが大切です。板書をノートするだけでなく、口頭での解説もできるだけノートに書きとめましょう。 ・授業の後で疑問点などを調べてノートに書き加えておくことで試験の時にとても役立ちます。									
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		・経済学は人間と社会についての学問です。授業ではそんな観点から、社会や人間についての、知的で面白い文献を幅広く紹介したいと思います。 ・経済学の授業のためのホームページを開設しましたので参照してください。URL は次の通りです。 http://ktate.web.fc2.com/									
e-mail・研究室 (連 絡 先)		立松 潔：tate@ma.catvy.ne.jp（メールでの質問も歓迎します!）									

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
社 会 学	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 高橋 知花	選択	1	後期	2	非該当	可
授業概要	主要な社会理論や現代の社会について、様々なトピックを取り上げて解説していく。							
一般目標	現代社会の現象や諸問題について様々な視点から考察できるようになる。							
到達目標	・社会学の基礎概念を習得する。 ・社会構造を決定する要因についての多様な見方を理解する。 ・医療と社会のつながりを意識できるようになる。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	期末レポート：100%							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習など		担当
1	5. 9. 27 (水) 2	イントロダクション	社会学とは？「当たり前」を問い直す視座			参考図書の参照 配布プリント中の 不明語句をネット 検索等を利用し 再確認する。		高橋
2	5. 10. 4 (水) 2	日常生活における社会学	社会学理論の検討①					
3	5. 10. 11 (水) 2		社会学理論の検討②					
4	5. 10. 18 (水) 2		社会学理論の検討③					
5	5. 10. 25 (水) 2	現代社会におけるつながり	個人化する時間とつながり					
6	5. 11. 1 (水) 2		ボランティアとつながり					
7	5. 11. 8 (水) 2		地域づくりと再構築されるつながり					
8	5. 11. 15 (水) 2	家族・貧困・マイノリティと社会	現代における家族					
9	5. 11. 22 (水) 2		現代における貧困や格差					
10	5. 12. 6 (水) 2		社会のなかのマイノリティ					
11	5. 12. 13 (水) 2	医療と社会	医療の近代化、構築される「病」					
12	5. 12. 20 (水) 2		「病人-医療者」という役割					
13	6. 1. 10 (水) 2		「死」をめぐる議論					
14	6. 1. 17 (水) 2		地域社会と保健医療					
15	6. 1. 24 (水) 2	講義のまとめ						
教 科 書 参 考 図 書		教 科 書：指定しない。 参考図書：授業時に適宜紹介する。						
履 修 上 の 注 意		毎回、授業終了時にコメントを書いてもらいます。興味深い質問やコメントについては次回授業の冒頭に時間をとって解説します。ともに授業を作っていくつもりで、質問やコメントを出してください。						
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		ニュースや歴史に興味を持っていると、授業が理解しやすくなります。あまり興味のない人も、少しずつ触れるようにしてみてください。						
e-mail・研究室 (連 絡 先)		高橋知花：satokatahashi21@gmail.com						

授 業 科 目 名	学 科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
政 治 学	看護・理学療法学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 松本 邦彦	選択	1	後期	2	非該当	可
授業概要	政治学の基本的なとらえ方と基本概念を学ぶこと、今の日本の政治がどうしてこのようなものになっているのか、成り立ちと経緯を学んでいきます。							
一般目標	歴史をきちんと踏まえた上で主権者として政治に参加していく力と知識を得ることが目標です。							
到達目標	日常生活、そして日々のニュースに登場する政治の世界での現象について、自分自身で調べて、政治学の基礎概念を用いて理解すること、そしてその理解した内容と自分なりの意見を、その歴史的背景をふくめて他人に説明できるようになること。副次的に、長文の文章を読解する能力を身につけること。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	◇予習クイズの事前提出の段階で解答が完了していれば（正誤を問わず）3点ずつカウント。特設クイズに いても1件につき解答完了（正誤を問わず）で2点～3点をカウントします。クイズは合計50点を基本とし ます（加点あり）。記入不足のクイズは減点し、不切遅れの提出は0点です。 ◇感想票については1件につき1～3点カウント（上限を合計10点とします）。 ◇期末試験（電子機器をのぞき、持ち込み可）には40点配点。							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	5. 9. 25 (月) 3 5. 10. 2 (月) 3 5. 10. 16 (月) 3 5. 10. 23 (月) 3 5. 10. 30 (月) 3 5. 11. 6 (月) 3 5. 11. 13 (月) 3 5. 11. 20 (月) 3 5. 12. 4 (月) 3 5. 12. 11 (月) 3 5. 12. 18 (月) 3 5. 12. 25 (月) 3 6. 1. 15 (月) 3 6. 1. 22 (月) 3 6. 1. 29 (月) 3 後日連絡	・講義システム説明と「失敗学」入門 ・政治の世界と「影響力」 ・民主制の意義と限界 ・民主制の暴走を防ぐ仕組み ・日本の敗戦と民主化 ・戦後の新憲法はこうして誕生した ・冷戦に抗した政治家 ・政治の季節の終わり・60年安保 ・経済の季節の始まり・所得倍増 ・経済成長の果実を地方に ・公共事業で支持を得た政治家 ・貿易摩擦から内需拡大へ ・自民党政治の終わり・小泉改革 ・あなたも一票を・選挙運動とは ・地域振興と若者の政治参加 ・到達度確認試験	◇講義では板書と映像資料により、政治学の基本概念と日本政治の成り立ちを学習します。 ◇講義時に配布するプリント類は、PDF版を下記の講義ウェブサイトに掲載。 ◇講義時には、予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出（次の回で返却）。 ◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかりと持って、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴します。	◇予習：予習クイズに勘で解答。さらに下調べ内容を当日レジメに記入。 ◇復習：講義内容と講義サイト掲載の正答と解説を参考にし、予習クイズの解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されてのTV番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を感想票にまとめる。	松本			
教 科 書 参 考 図 書		教科書：◎五十嵐仁『18歳から考える日本の政治 第3版』法律文化社、2021年、2300円 参考書：◎石川真澄『戦後政治史 第3版』岩波新書（新赤版）1281、2013年、900円、◎早野透『田中角栄』中公新書2186、2012年、940円、◎『平和と人権：やまがたガイド』山形県歴史協ほか、2015年、500円。その他にも講義時に随時紹介します。						
履 修 上 の 注 意		講義サイト掲載の正答と解説の閲覧のため、また欠席時のプリント類のダウンロードと印刷のための機材を確保してください(共用も可)。 口頭での説明よりもテキストやプリント類での指示や説明に比重を置くので、長文読解と配付資料の保管と整理のテクニックも、試行錯誤しながら、身につけていきましょう。						
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		まず、間違えましょう。失敗に学ぶ、試行錯誤、trial & error がモットーです。そうして自分の先入観や誤解を気づくとともに、それを修正していく作業を重視します。よって、“わかった気”にはさせません。自分を疑い、既成の価値観を、ニュースを疑い、“ずくを出して”自分の目と手で確かめてから考えていく癖をつけましょう。 そして日々のニュースはもとより、身近に存在する「政治」にも注目していきましょう。そこで、身近な年上の人（つまり戦後日本政治史の生き証人）への聞き取りも推奨します。						
e-mail・研究室 (連 絡 先)		◇講義資料が掲載される講義ウェブサイト： http://matumoto.o.oo7.jp/index.htm ◇松本宛メールの前に一読を↓（メールアドレスの表記もこちらにあります）： http://www-h.yamagata-u.ac.jp/~matumoto/mail.htm						

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
国際関係論	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 松本 邦彦	選択	1	前期	2	非該当	可
授業概要	日本が 21 世紀の国際社会に対して何によってどう貢献するべきかを、日本の過去を踏まえた上で、そして「冷戦」後の唯一の超大国となったアメリカとのつきあい方を通して考えていきます。							
一般目標	国際ニュースに関心をもち、そして“日本に住んでいる地球人”として何をするかについて、自分なりの考えを持てるようになること。							
到達目標	日本が明治以降対外的におこなってきた歴史的事実の重要なポイントを説明できるようになるとともに、多様な文化・価値観が共存する国際社会での国際貢献の方途を考察できるようになること。副次的に、長文の文章を読解する能力を身につけること。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	◇予習クイズの事前提出の段階で解答が完了していれば（正誤を問わず）3 点ずつカウント。特設クイズについても 1 件につき解答完了（正誤を問わず）で 2 点～3 点をカウントします。クイズは合計 50 点を基本とします（加点あり）。記入不足のクイズは減点し、不切遅れの提出は 0 点です。 ◇感想票については 1 件につき 1～3 点カウント（上限を合計 10 点とします）。 ◇期末試験（電子機器をのぞき、持ち込み可）には 40 点配点。							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法		授業外学習など		担当	
1	5.4.10（月）3	講義システム説明と「失敗学」入門 問題提起：日本の歴史と国際貢献 第一部 日本の戦前戦後 〃 / 敗戦と憲法 〃 / 韓国保護国化 〃 / 韓国併合 〃 / 植民地朝鮮 〃 / 朝鮮人戦犯 〃 / 日本軍と日中戦争 第二部 米国と世界／米外交の特質 〃 / ベトナム戦争 〃 / 反米感情 〃 / イラク戦争 〃 / アフガニスタン戦争 〃 / 日本人の国際貢献 到達度確認試験	◇講義では映像資料を視聴して、日本とアメリカのこれまでの外交史を学習します。 ◇予習クイズ&当日レジメおよび資料は下記の講義ウェブサイトにて事前に PDF ファイルとして配布されます。 ◇講義時には、予習クイズ&当日レジメに必要事項を記入し、感想を記入します。また、講義終了時には次回以降の回の予習クイズを提出します(次の回で返却)。 ◇講義時には、予習クイズで確認した自分の先入観をしっかりとって、講義内容との異同を気にしながら聴講・視聴しましょう。		◇予習：予習クイズをダウンロード→1 頁を A4 判用紙 1 枚に印刷（片面 or 両面）してから勘で解答をし、さらに下調べ内容を当日レジメに記入しましょう。 ◇復習：予習クイズの解答内容を修正する（○の見せ消し&追記）。過去の回の疑問点の調べをおこない、その内容をクイズ&レジメに追記するか、別紙にまとめておく。さらに講義に触発されての TV 番組や映画の視聴、体験者への聞き取り等についての概要と感想を感想票にまとめる。		松本	
2	5.4.17（月）3							
3	5.4.24（月）3							
4	5.5. 1（月）3							
5	5.5. 8（月）3							
6	5.5.15（月）3							
7	5.5.22（月）3							
8	5.5.29（月）3							
9	5.6. 5（月）3							
10	5.6.12（月）3							
11	5.6.19（月）3							
12	5.6.26（月）3							
13	5.7. 3（月）3							
14	5.7.10（月）3							
15	5.7.24（月）3							
16	後日連絡							
教 科 書 参 考 図 書	教科書：◎伊勢崎賢治『国際貢献のウソ』ちくまプリマー新書、2010 年、990 円 参考書：◎『平和と人権：やまがたガイド』山形県歴教協ほか、2015 年、500 円。その他にも講義時に随時紹介します。							
履 修 上 の 注 意	毎回のプリント類のダウンロードと印刷のための機材を確保してください(共用可)。 口頭での説明よりもテキストやプリント類での指示や説明に比重を置くので、長文読解と配付資料の保管と整理のテクニックも、試行錯誤しながら身につけていきましょう。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	まず、間違えましょう。失敗に学ぶ、試行錯誤、trial & error がモットーです。そうして自分の先入観や誤解を気づくとともに、それを修正していく作業を重視します。よって、“わかった気”にはさせません。自分を疑い、既成の価値観を、ニュースを疑い、“ずくを出して”自分の目と手で確かめてから考えていく癖を身につけましょう。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	◇講義資料が掲載される講義ウェブサイト： http://matumoto.o.oo7.jp/index.htm ◇松本宛メールの前に一読を（メールアドレスの表記もこちらにあります）： http://www-h.yamagata-u.ac.jp/~matumoto/mail.htm							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
人間関係・コミュニケーション論	理学・作業療法学科 (総合基礎教育科目)	名誉教授 佐竹 真次	理・作一必修	1	後期	2	非該当	可
授業概要	人間関係・コミュニケーション論は、人が社会生活を効果的に行っていくために身につけておいた方がよい教養的知識や態度に関する知識より構成されている。ただ知っているだけというレベルにとどまらず、将来の社会生活や職業生活にも資するような内容を講義・討論する。							
一般目標	1 人間関係とは何かについて学ぶ。 2 コミュニケーションの仕組みと役割について学ぶ。 3 コミュニケーションの実践的側面を体験的に学ぶ。							
到達目標	①ことばとは何かについて述べるができる。②ことばと身体の関係について述べるができる。③ことばと身体のコミュニケーションについて述べるができる。④交流としてのコミュニケーションについて述べるができる。⑤モノとイメージのコミュニケーションについて述べるができる。⑥コミュニケーションの変容性について述べるができる。⑦意味を伝えるコミュニケーションの機能について述べるができる。⑧現代のコミュニケーションの特徴について述べるができる。⑨メディアとコミュニケーションの関係について述べるができる。⑩「わたし」の多様性とコミュニケーションの関係について述べるができる。⑪よりよいコミュニケーションの要件について述べるができる。⑫確かな人間関係を作るためのコミュニケーションについて述べるができる。⑬コミュニケーションの始発と応答と展開と終結について述べるができる。⑭非言語コミュニケーションについて述べるができる。⑮ことばの理解と共感について述べるができる。							
成績評価方針 評価方法 および基準	討論（15 点）、理解度チェック（試験等）（65 点）、レポート等（20 点）を総合して成績評価を行う。							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当			
1	5. 9. 25（月）2	ことばとは何か	ことばの本質について	各回の授業項目にあたるプリント教材を事前に読んで予習しておく。 毎回の授業でその回のトピックに関してグループ・ディスカッションを行ってレポートをまとめるので、主体的・積極的に参加する。	佐竹			
2	5. 10. 2（月）2	ことばと身体	意図とは何か					
3	5. 10. 16（月）2	ことばと身体のコミュニケーション	身体の記号性					
4	5. 10. 23（月）2	交流としてのコミュニケーション	応答の相互性					
5	5. 10. 30（月）2	モノとイメージのコミュニケーション	記号としてのモノ					
6	5. 11. 6（月）2	コミュニケーションのダイナミズム	変化するわたしとあなた					
7	5. 11. 13（月）2	意味とコミュニケーション	意味の読み取り					
8	5. 11. 20（月）2	コミュニケーションのいま	コミュニケーションの危機					
9	5. 12. 4（月）2	メディアとコミュニケーション	メディアの功罪					
10	5. 12. 11（月）2	「わたし」とコミュニケーション	「わたし」の多様化					
11	5. 12. 18（月）2	よりよいコミュニケーション	コミュニケーションの前提					
12	5. 12. 25（月）2	確かな人間関係とコミュニケーション	記号的存在としての人					
13	6. 1. 15（月）2	コミュニケーションの実践 1	始発と応答と展開と終結					
14	6. 1. 22（月）2	コミュニケーションの実践 2	非言語コミュニケーション					
15	6. 1. 29（月）2	コミュニケーションの実践 3	ことばの理解と共感					
教科書 参考図書	参考図書：森川知史（著）確かな人間関係のためのコミュニケーション論（京都書房）							
履修上の注意	適切な内容と分量の予習課題を適宜に出すことがある。さまざまな基本的問題を討論し合える、肯定的で積極的な雰囲気の講義にしたい。							
学生へのメッセージ	人間関係・コミュニケーション論を学問とだけとらえるのではなく、自分や他者の社会生活を成り立たせるための必須の道具でもあると講義担当者とはとらえている。その視点で、みなさんの日常生活に密着したテーマを取り上げて話し合えるように配慮したい。							
e-mail・研究室 (連絡先)	佐竹真次：g. ssatake@yachts. ac. jp							
連絡調整 担当教員	佐藤寿晃：研究室 37 tsato@yachts. ac. jp							

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
文章表現法		理学・作業療法学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 名子 喜久雄	選択	2	前期	2	非該当	可
授業概要		・ 目的に応じた実用的文章が記述できる能力を、高める。 ・ 上記の目的を達成するため、基本的技法・ルールをマスターした上で、文章が書けるような力をつける。 ・ データ・グラフの読み取りの能力を高め、その能力を、文章上に反映できるようにする。							
一般目標		・ 文章を、その目的・内容に応じて書ける能力（表記法・表現法・フォームなど）を身につけ、実際に応用できる。							
到達目標		認知領域……文章構成の必要性を理解した上で、手紙文・連絡文・案内文・小論文・発表用ポスター・レジュメなどが書けるようになる。 情意領域……文章を書くに際し、読み手の立場に配慮できる。 精神運動領域…目的に応じて、形式を生かし、内容や表現を工夫した文章が書ける。							
成績評価方針 評価方法 および基準		・ 学習中の課題（実用的な文章を書く・わかりやすい文を書く・自分の意見を相手にわかりやすく発表したり、話すなど）に対する評点 50 点 ・ 試験またはレポート…データ・グラフや参考文献などを使い、事実に基づいた小論文を書く。 （考察の深さ、文章の構成、わかりやすさ、表現の適切さなどを、評価のポイントにする） 評点 50 点							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題			学習内容・学習方法		授業外 学習など	担当	
1	5.4.14 (金) 4	文章を書く前に準備すること 作文と論理的文章の差 なぜ文がわかりにくくなるのか？(1) なぜ文がわかりにくくなるのか？(2) 実用的文章の実践(1) 実用的文章の実践(2) 実用的文章の実践(3) 実用的文章の実践(4) 意見を述べる文章はどう書くか(1) 意見を述べる文章はどう書くか(2) 意見を述べる文章はどう書くか(3) 形式の必要な手紙(1) 形式の必要な手紙(2)事務的な手紙 データやグラフの読み取り方(1) データやグラフの読み取り方(2)			・ 文章を書く上での前提とは？ ・ 文を書く上での留意点を再確認する。文例を示し訂正に取り組む。 ・ 手紙文・案内文・発表ポスターを書き添削を受ける。 ・ 意見をわかりやすく伝えるためにどのような形式が有効かを学ぶ、添削も行われる。 ・ データ・グラフの読み取り上の注意点、作成上の留意点を学ぶ。		身近な問題に関心を持ち、情報収集を心掛ける事	名子	
2	5.4.21 (金) 4								
3	5.4.28 (金) 4								
4	5.5.12 (金) 4								
5	5.5.19 (金) 4								
6	5.5.26 (金) 4								
7	5.6. 2 (金) 4								
8	5.6.16 (金) 4								
9	5.6.23 (金) 4								
10	5.6.30 (金) 4								
11	5.7. 7 (金) 4								
12	5.7.14 (金) 4								
13	5.7.21 (金) 4								
14	後日連絡								
15	5.7.28 (金) 4								
教 科 書 参 考 図 書		プリント配布予定							
履 修 上 の 注 意									
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		5回前後、課題に応じた文章を書き、添削を受けることになります。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)		教務学生課							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
文学	看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	2	後期	2	非該当	不可
授業概要	放送大学が開講する「 日本文学における古典と近代（'18） 」を受講する。 「古典と近代」という巨視的な視点を導入することで、日本文学の全体像を提示し、文学ジャンルや時代性、東西文学との交流や相互影響などを、トータルに把握することに力点を置く。このことによって、日本文学の生成と展開性を同時に把握する視点を持つことが、可能となる。日本文学の場合、いつの時代にも「古典と近代」が融合して、文学の創造が継続的に行われてきた。この点に着目することは、日本文学のみならず日本文化の本質への洞察を養うことにもなる。							
一般目標 到達目標	第一に、日本文学の輪郭を明確化し、文学創造の推進力が何であったかを理解する。第二に、日本文学の全体像を、文学ジャンルを縦糸とし、時代性を横糸として、自在に織り成された多様性として理解する。第三に、「古典と近代」が併存しつつ、諸外国や各地域との交流を実現してきた日本文学のあり方を、現代性と普遍性の両面から理解する。							
成 績 評 価 方 針 評 価 方 法 お よ び 基 準	放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題			学習内容・方法		授業外学習	担当
1	オンデマンド	生成する文学と、その眺望			詳細は、放送大学シラバスを参照			
2		漢詩文						
3		和歌						
4		歌謡						
5		日記						
6		紀行文学						
7		物語						
8		随筆						
9		歴史文学						
10		説話						
11		軍記						
12		劇						
13		連歌と俳諧						
14		近代の詩歌						
15		近代の文学と、そのゆくえ						
教 科 書 参 考 図 書	教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履 修 上 の 注 意	放送大学「日本文学における古典と近代（'18）」をオンデマンドで受講する。 文学として、「日本文学における古典と近代（'18）」「日本文学と和歌（'21）」「世界文学への招待（'22）」「世界文学の古典を読む（'20）」を2科目以上選択することはできない。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	文学の魅力を感じてください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	担当教員、教育補助教員 遠藤恵子：研究室 20 kendo@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名		学 科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
文学		看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	2	後期	2	非該当	不可
授業概要		放送大学が開講する「 日本文学と和歌（' 21） 」を受講する。 古代から現代までの、和歌史上の著名な歌人を取り上げ、和歌の歴史がどのようなものであったかとともに、彼等が日本文学史の上でどういう意味をもったかを解説する。							
一般目標 到達目標		和歌の歴史の概要を修得するとともに、なぜ和歌が続いたかの要因を把握する。また日本文学史上の著名作品との関連を捉えることによって、和歌の文学的意義を理解する。							
成績評価方針 評価方法 および基準		放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題				学習内容・方法		授業外学習	担当
1	オンデマンド	持統天皇の時代				詳細は、放送大学シラバスを参照			
2		聖武天皇の時代							
3		六歌仙時代							
4		『古今集』の撰者たち							
5		梨壺の五人の時代							
6		王朝の女房歌人たち							
7		堀河天皇の時代							
8		数寄の歌人たち							
9		新古今歌人たち							
10		二条為世と和歌四天王							
11		京極派の活動							
12		三玉集の時代							
13		後水尾院とその時代							
14		賀茂真淵と江戸派の活動							
15		桂園派の広がり							
教科書 参考図書		教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履修上の注意		放送大学「日本文学と和歌（' 21）」をオンデマンドで受講する。 文学として、「日本文学における古典と近代（' 18）」「日本文学と和歌（' 21）」「世界文学への招待（' 22）」「世界文学の古典を読む（' 20）」を2科目以上選択することはできない。							
学生への メッセージ		文学の魅力を感じてください。							
e-mail・研究室 (連絡先)		担当教員、教育補助教員 遠藤恵子：研究室 20 kendo@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
文学	看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	2	後期	2	非該当	不可
授業概要	放送大学が開講する「 世界文学への招待（'22） 」を受講する。 いま世界の文学ではどのような試みがなされ、いかなる刺激的な作品が生まれているのか。グローバリズム以降の社会の変化のただなかにあって、文学が切り拓く新しい地平を探索し、多様な作家たちとの出会いへと導く講義。作品成立の背景をわかりやすく解説しながら、個々の作品の魅力を紹介し、同時代と切り結ぶ世界文学のダイナミズムを分析する。							
一般目標 到達目標	ヨーロッパやアメリカ、ラテン・アメリカ、そして韓国や日本を視野に収め、世界文学の最前線では何が起こっているかをいきいきと紹介する。際立った意義をもつ作品や作家たちについて分析しながら、受講生に文学を読み解くことのスリルと面白さを体験してもらう。							
成績評価方針 評価方法 および基準	放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題			学習内容・方法		授業外学習	担当
1	オンデマンド	『異邦人』から出発する旅——カミュとダーウド			詳細は、放送大学シラバスを参照			
2		危機に挑む文学—ウエルベックとサンサール						
3		好きになれない主人公が見る世界—— J・M・クッツェーの『恥辱』を読む						
4		アイルランド詩と土の匂い——シェイマス・ヒーニーの作品から						
5		クレオール文学——叙事詩の復活						
6		楽譜としてのテキスト—ロラン・バルト「作者の死」とその後の現代批評						
7		人間とロボットを分かちもの—カレル・チャペック『ロボット』						
8		引用の文学、文学の引用——大江健三郎から、アンナ・ツィマへ						
9		『百年の孤独』のインパクト—地方色と普遍性						
10		グローバリズムとラテンアメリカ—マジック・リアリズムの浮沈						
11		いちばん近い世界文学・今日の韓国文学を読む						
12		光州事件を描く——ハン・ガンの『少年が来る』を読む						
13		言葉の「際」をさぐる—古井由吉の作品						
14		未知の言葉を求めて—多和田葉子の小説						
15		世界文学をより深く味わうために						
教科書 参考図書	教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履修上の注意	放送大学「世界文学への招待（'22）」をオンデマンドで受講する。 文学として、「日本文学における古典と近代（'18）」「日本文学と和歌（'21）」「世界文学への招待（'22）」「世界文学の古典を読む（'20）」を2科目以上選択することはできない。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	文学の魅力を感じてください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	担当教員、教育補助教員 遠藤恵子：研究室 20 kendo@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名		学 科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
文学		看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	2	後期	2	非該当	不可
授業概要		放送大学が開講する「世界文学の古典を読む（'20）」を受講する。 古代から中世にかけて広く知られた世界中の名作に触れ、旅・冒険・非日常という共通の観点から読み解いてゆく。							
一般目標 到達目標		ギリシア・ローマ、中世ヨーロッパ、あるいは中国などの「冒険もの」の名作の社会背景や構造を理解し、名場面の一部を翻訳で味わう。人が異国や異界に旅立つ原動力や、未知なるものとの遭遇、成長や挫折などについて検討を行い、人間の普遍的な営みとしての旅を考える。さらに口承からテキストへと至る過程を精査し、古典文学のもつ意味を考察する。							
成 績 評 価 方 針 評 価 方 法 お よ び 基 準		放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題				学習内容・方法		授業外学習	担当
1	オンデマンド	古代ギリシア 1 『オデュッセイア』				詳細は、放送大学シラバスを参照			
2		古代ギリシア 2 『オイディプス王』							
3		古代ローマ 1 『アエネイス』							
4		古代ローマ 2 『黄金のろば』							
5		中国 1 『遊仙窟』							
6		中国 2 『西遊記』							
7		スペイン 1 『わがシードの歌』							
8		スペイン 2 『ティラン・ロ・ブラン』							
9		イタリア 1 『神曲』							
10		イタリア 2 『デカメロン』							
11		フランス 1 アーサー王物語と聖杯の探索							
12		フランス 2 『エセー』							
13		イギリス 1 『カンタベリー物語』							
14		イギリス 2 『妖精の女王』							
15		テキストと旅							
教 科 書 参 考 図 書		教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履 修 上 の 注 意		放送大学「世界文学の古典を読む（'20）」をオンデマンドで受講する。 文学として、「日本文学における古典と近代（'18）」「日本文学と和歌（'21）」「世界文学への招待（'22）」「世界文学の古典を読む（'20）」を2科目以上選択することはできない。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		文学の魅力を感じてください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)		担当教員、教育補助教員 遠藤恵子：研究室 20 kendo@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
文化人類学	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 坂井 正人	選択	2	前期	2	非該当	可
授業概要	ばい菌、恋愛と結婚、呪術、死、贈り物、フェアトレード、生殖医療、地上絵などを題材に、文化人類学とSDGs の関係について検討する。							
一般目標	文化を相対的に理解する能力を培うとともに、 SDGs に関する理解を深める。							
到達目標	授業で扱った日本および世界の諸地域における生活世界について理解するとともに、それらの事例を比較することによって、我々の日常生活を異なった視点で思考する能力を養います。また SDGs をめぐる活動について複眼的な視点から理解する。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	授業中の質疑応答、出席カード（後述）の内容、学期末レポートによって、参加の度合い、知識修得・理解の度合い、論理的思考力、文章表現力のそれぞれの項目について判定し、その合計点を用いて判定します。また、授業のはじめに「出席カード」という用紙を配布します。授業を聞いて考えたこと、質問、今後の授業で扱って欲しいトピック、授業の進め方についての要望など、何を書いても構いません。 配点：出席カード 20%、学期末レポート 80% 総合評価基準：100～90 点=A、89～80 点=B、79～70 点=C、69～60 点=D、60 点未満=F							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習など		担当
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	5. 4. 10 (月) 2 5. 4. 17 (月) 2 5. 5. 1 (月) 2 5. 5. 8 (月) 2 5. 5. 10 (水) 1 5. 5. 15 (月) 2 5. 5. 17 (水) 1 5. 5. 22 (月) 2 5. 5. 29 (月) 2 5. 6. 5 (月) 2 5. 6. 12 (月) 2 5. 6. 19 (月) 2 5. 6. 26 (月) 2 5. 7. 3 (月) 2 5. 7. 10 (月) 2	・文化人類学とは？：不浄観と文化相対主義 ・SDG s とは？ ・恋愛と結婚 ・アンデスと日本の呪術 ・贈り物と取引 ・不平等とフェアトレード ・生殖医療 ・文化遺産としてのナスカの地上絵	・我々は何を汚いと考えるのか ・文化に優劣はあるのか ・SDGs の目標と視座 ・日本・オセアニア・アフリカの事例研究 ・南米アンデスと日本の事例研究 ・よい贈り物とは？ ・SDGs とフェアトレード再考 ・SDGs と生殖医療再考 ・山形大学ナスカ研究所の成果			文化人類学・SDGs 関係の図書で、授業項目に関係するページを読み、自分なりに考えてみること。		坂井
教 科 書 参 考 図 書	参考図書：波平恵美子（編）『文化人類学』医学書院、山下晋司、船曳健夫（編）2008『文化人類学のキーワード〔改訂版〕』有斐閣双書、蟹江憲『SDG s （持続可能な開発目標）』（中公新書、2020）							
履 修 上 の 注 意	特にありません。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	この授業で紹介される事例を参考にしながら、自分の常識や価値観を見つめなおしてください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	坂井正人：sakai@human.kj.yamagata-u.ac.jp							

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
宗教学		看護学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 久保田 力	選択	1	前期	2	非該当	可
授業概要		「宗教学」のサブタイトルは「一人類進化の観点から」とする。 混迷を極めたグローバルな現代社会において、起源の意味での宗教性やグローバル性を探究する。「私たちはどこから来てどこへ行くのか。私たちは何者なのか。」それら哲学的命題へ科学的に答えるためにまず、宇宙→地球→人類→文明の成立過程を探る。これによって私たちの存在自体の起源や意味を客観的に理解する。宗教学のみならず、考古学や歴史学、人類学、心理学、生物学などの知を駆使して人類を振り返るビッグヒストリーの体感。そしてホモ・サピエンスに至る人類進化の科学的成果を示す。この私たちに共通なアイデンティティの確認と知識は医学分野においても人間理解の前提となる有効性を持つと考える。 人類進化の過程において宗教的思考の発生を考え、同時に知性の発達過程も探る。人間世界や宗教を客観的・科学的に眺められる座標軸を提供する。本授業では個別的宗教や文化の「違い」よりも、人類的思考や文化の「共通点」に多く着目する。人類史の中の宗教を考える上でも多様な研究成果の視点を取り入れつつ、自民族中心主義（エスノセントリズム）に陥らないように、自己をより深いグローバルな次元で認識できる能力を養う。宗教学は信仰を直接的に求めたり深めたりする学問ではない。むしろそれらを相対化する視点である。本講義は狭い意味での宗教学を超えて、人間としての自分の成り立ちを宇宙的次元にまで掘り返す自己再発見の旅路である。その受け止め方によって言わば“科学的なスピリチュアリズム”を目指す。 もし授業時間に余裕が生じたならば、キリスト教やイスラム教、ユダヤ教、仏教、ヒンドゥー教などの個別的宗教の基本知識を学習する（シラバスには最終回の仏教しか記載していないが）。							
一般目標		人類が進化の過程において宗教的思考や知性をいつ、どのように獲得してきたのかを理解し説明できること。また、地球の成り立ちをマクロに振り返ることを通して、現在の文明社会の特徴を再認識する。							
到達目標		以下、多いと感じるかもしれませんが、試験実施なら中心的に設問化する目標群です。 1) 宇宙や地球の歴史について、重要事件の数値を明確に言える。 2) 元来複数いた人類の進化の5段階の過程をその特徴と共に簡潔に説明できる。 3) 宗教的思考の発生時期や発生状況とその意義を説明できる。 4) ホモ・サピエンスの進化における5つの革命を挙げて、特に農業革命の特徴を説明できる。 5) アニミズムやマナイズムを説明できる。 6) 類人猿と人間との間の最も根本的な相違点を指摘できる。 7) 世界宗教と民族宗教との違いを列挙・説明できる。（以下の4点は全てカバーできない場合もある。） 8) 日本人の宗教観について、特に「無宗教」と「無神論」の違いについて説明できる。 9) 呪術の基本的構造を簡潔に説明できる。 10) 仏教思想の根本的思想を指摘・説明できる。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準		1) 2023年1月の下旬時点において、コロナ感染状況が再び拡大しつつあるので、場合によってはZoom授業となることも予想し、その場合でも対応できるようVTR鑑賞を中心に授業を構成して推進する。その際、鑑賞中にストップモーションをかけながら、久保田が必要な補足的説明や解説を頻繁に行う。下記のシラバスはあくまで暫定的な予定だと捉えて頂きたい。人類史にとって新たな画期的発見のニュースや必要な補足事項が見出されれば、授業内容を臨機応変に追加又は省略することがあることを予め了解して頂きたい。少人数での対面授業の場合はゼミ形式に近くして、プレゼンテーションなどを課すこともある。 2) 基本的にはVTRを視聴しながらキーワードに留意しつつノートテイクし（久保田の解説部分要注意）、その振り返り学習を兼ねてWORD原稿としてまとめ（対面授業の場合は手書きノートで可）、授業前と後半部に分けて2回提出する。前半期ノート30点、後半期ノートは別指定のテキストの要約も含むため40点。合計70点。 3) ほぼ毎回の授業で出席確認を兼ねてキーワードテスト（ミニテスト）（各4点）を実施する。 今のところ、期末試験を実施するか否か未定。配点は20～30点を予定。 以上の合計点は100点を超えることになるが、相対評価をするので問題ない。							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習など		担当	
1	5.4.11(火)4	1 ガイダンス及び地球の歴史前編 VTR	1・2 近代宗教学の成立 宇宙と地球のビッグヒストリー			キーワードやキーセンテンスと共に的確にノートテイキングのスキルアップを目指す。 WORDへの整理の仕方を工夫する。追跡調査の記載は高く評価する。提出時はPDFに変換すること。自分の知的財産を創造して下さい。		久保田	
2	5.4.18(火)4	2 地球の歴史後編	恐竜の絶滅など						
3	5.4.25(火)4	3 20世紀の総括 宗教の分類方法	3 20世紀の異常性 民族宗教と世界宗教						
4	5.5.2(火)4	4 宗教の原初形態	4 宗教の起源、アニミズム・マナイズム						
5	5.5.9(火)4	5 人類の誕生と進化1 (Nスベ)	5 人類進化の5段階						
6	5.5.16(火)4	6 同	6 同						
7	5.5.23(火)4	7 アジアへの拡散	7 アジア人の起源と適応（同）						
8	5.5.30(火)4	8 人類の誕生と進化2 (ネアンデルタール人)	8 チンパンジーとヒトとの違い 洞窟壁画の世界						

9	5.6.6 (火) 4	9 ネアンデルタール人絶滅の謎	9 宗教性の萌芽と知性の進化 象徴的思考能力と流動的知性	WORD への整理は一度にはできないので、できれば毎回の授業後に少しずつ着実に整理していくこと。	久保田
10	5.6.13 (火) 4	10 人類の誕生と進化 3	10 ホモ・サピエンス日本へ		
11	5.6.20 (火) 4	11 農業革命について	11 ギョベクリ・テペ遺跡を中心に (N スペ)		
12	5.6.27 (火) 4	12 ユヴァル・ノア・ハラリ「サピエンス全史」	12 ハラリー氏のベストセラーのドキュメンタリー (BS)		
13	5.7.4 (火) 4	13 同「ホモ・デウス」	13 同氏の第 2 のベストセラーのドキュメンタリー、人類の近未来 (同)		
14	5.7.11 (火) 4	14 呪術論, アニミズム, マナイズム, 「無宗教」	14 フレイザーの論, 宗教原型論, 「無宗教」と「無神論」の違いと日本人		
15	5.7.18 (火) 4	15 仏教の思想	15 華嚴経の思想など		
教科書 参考図書		『人類の起源、宗教の誕生』山際寿一・小原克博共著、平凡社新書、2019 年、840 円 (税別) (参考書『人類進化の秘密がわかる本』学研プラス、2016 年は絶版のため) その他の参考書は授業時に指摘・紹介する。			
履修上の注意		将来、患者さんの多様な宗教観・人間観・死生観などを理解できる人間に！ 自分で調べ、要約し、発表する楽しさも対面授業の場合は味わってもらいたい。VTR もできる限り積極的に使用するので、キーワードやキーセンテンスを見極めつつ、的確にノートをとるスキルとそれらを的確に整理するスキルを養う。オリジナルな知的財産を造ろう。			
学生への メッセージ		実は、「宗教とは何か」ではなく「人間とは何か」が問題。 「私たちはどこから来てどこに行くのか、私たちは何者なのか」			
e-mail・研究室 (連絡先)		久保田力：kubota@aga.tuad.ac.jp Tel. 023-627-2039 (東北芸術工科大学の久保田研究室直通)			

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
英語Ⅰ	三学科共通 (総合基礎教育科目)	准教授・梶 理和子	選択	1	前期	1	非該当	否
授業概要	この授業では、孤独の克服といった身近なテーマから、ロボットによる外科手術といった科学技術に関連するトピックを扱う教科書を使って、英文の構造や表現を理解し、異なる価値観や問題を考察することを目的としています。グループワークによる英文の確認、疑問点の確認といった演習をおこなってもらいますので、辞書や参考書を持参のうえ授業に参加してください。英語の音（発音やアクセント、リズム）や表現に対する関心を高め、扱われているテーマに対する問題意識を言語化することを心がけてください。							
一般目標	英語は、多様な意味や働きをもつ「言葉」であると認識し、英文を正確に理解するための有効な検索方法を習得する。英文の表現や内容に対する自分の解釈を他の学生に説明したり、意見交換したりすることで、共通認識を構築する技術を身につける。							
到達目標	1. 複数の（異なる出版社の／語彙の豊富な／Web 上の）辞書を引き、適切な意味を選択できる。 2. 設問解答のためだけでなく、英文の音声（ダウンロード）を確認し、正しい発音を身につける。 3. 英文の意味（内容）を解釈し、解釈に基づき内容について考察を加える。 4. 英文の構造や、表現、内容にかかわる疑問点をみつける。 5. グループワークに積極的に参加する（共通理解構築のためにメンバーで協力する）。							
成績評価方針 評価方法 および基準	演習［グループワーク等の演習態度や minute paper によって評価］（40）・小テスト（40）・Quiz（20）							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法		授業外学習など		担当	
1	5. 4. 12（水）1・2	オリエンテーション	授業概要説明 自己目標設定		シラバス・教科書確認 音声ダウンロード		梶	
2	5. 4. 19（水）1・2	(A) Chapter 1-(1) (B) Chapter 3-(1)	次の方法で、1 つの Chapter（8 ページ）を 3 回程度で扱います （演習グループは Chapter 毎に変更します）： (1) Prereading, Vocabulary をグループで、続いてクラス全体で確認する。Reading Analysis をグループワークで完成しつつ、クラス全体で確認する。 (2) Reading Analysis の演習を継続し、Reading Skill をグループワークで作成し、クラス全体で確認する。最後に小テストに解答する。 (3) Information Recall および Critical Thinking をグループで、続いてクラス全体で確認する。最後に小テストに解答する。		注：Chapter A～G の選択はクラスの希望を踏まえて、決定します。 (1) 新しい Chapter に入る際には、Prereading, Vocabulary に解答し、Reading Analysis の英文に目を通しておく。 (2) Reading Analysis の英文や内容に関わる疑問箇所を確認する。Reading Skill に目を通しておく。 (3) Information Recall に解答しつつ、英文や内容に関わる疑問点を再確認する。テーマに関わる情報収集や考察を行い、Critical Thinking の演習準備をする。			
3	5. 4. 26（水）1・2	(A) Chapter 1-(2) (B) Chapter 3-(2)						
4	5. 5. 10（水）1・2	(A) Chapter 1-(3) (B) Chapter 3-(3)						
5	5. 5. 17（水）1・2	(A) Chapter A-(1) (B) Chapter B-(1)						
6	5. 5. 24（水）1・2	(A) Chapter A-(2) (B) Chapter B-(2)						
7	5. 5. 31（水）1・2	(A) Chapter A-(3) (B) Chapter B-(3)						
8	5. 6. 7（水）1・2	(A) Chapter C-(1) (B) Chapter D-(1)						
9	5. 6. 14（水）1・2	(A) Chapter C-(2) (B) Chapter D-(2)						
10	5. 6. 21（水）1・2	(A) Chapter C-(3) (B) Chapter D-(3)						
11	5. 6. 28（水）1・2	(A) Chapter F-(1) (B) Chapter G-(1)						
12	5. 7. 5（水）1・2	(A) Chapter F-(2) (B) Chapter G-(2)						
13	5. 7. 12（水）1・2	(A) Chapter F-(3) (B) Chapter G-(3)						
14	5. 7. 19（水）1・2	Quiz						
15	5. 7. 26（水）1・2	まとめ	Quiz の確認 設定目標の達成度評価		設定目標等の確認			
教 科 書 参 考 図 書	教科書 Reading Choice, New Edition: Skills for Academic Success（センゲージラーニング、2023） 参考資料（発表や意見交換のための英語表現等）等はプリントで配布します							
履 修 上 の 注 意	演習中心の授業ですので積極的に参加してください。なお、教科書、辞書をかみならず持参してください（スマホを辞書として使用できません）。できれば参考書も持参しましょう。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	英文の背後にある文化やさまざまな考え方に興味を持ちましょう。 コミュニケーションを円滑に行う雰囲気作りを心がけてください。							
e - m a i l ・ 研 究 室 （ 連 絡 先 ）	梶 理和子：研究室 25 rkazi@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学 科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選択 の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
英語Ⅱ	三学科共通 (総合基礎教育科目)	准教授・梶 理和子	選択	1	後期	1	非該当	否
授業概要	この授業では、今日の日本が抱えている問題を考える教科書を用いて総合的な英語の力と考える力を身につけることを目的としています。グループワークによる英文の確認、疑問点の抽出といった演習をおこなってもらいますので、辞書や参考書を持参のうえ授業に参加してください。英文の理解のみならず、英語の音（発音やアクセント、リズム）や表現に対する関心を高めるとともに、トピックに対する考えや疑問を他の学生に説明することで、扱われている問題に対する意識を言語化することを心がけてください。							
一般目標	英語は、多様な意味や働き、音をもつ「言葉」であると認識し、英文を正確に聴き取り、発音し、何を伝えているのかを理解するための有効な検索方法を習得する。英文の表現や内容に対する自分の解釈を他の学生に説明したり、意見交換したりすることで、共通認識を構築する技術を身につける。							
到達目標	1. 複数の（異なる出版社の／語彙の豊富な／Web 上の）辞書を引き、適切な意味を選択できる。 2. 英文の音声（ダウンロード）を確認し、正しい発音を身につける。 3. 英文の意味（内容）を前後の文脈から解釈する。 4. 英文の構造や、表現、内容にかかわる疑問点をみつける。 5. グループワークに積極的に参加する（共通理解構築のためにメンバーで協力する）。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	演習〔グループワーク等の演習態度や minute paper によって評価〕(70)・Quiz (30)							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法		授業外学習など		担当	
1	5. 9. 27（水）1・2	オリエンテーション	授業概要説明 自己目標設定		シラバス・教科書確認 音声ダウンロード		梶	
2	5. 10. 4（水）1・2	Chapter 1	以下の方法(1)(2)にしたがって授業の流れを確認します		授業外学習(1)(2)をおこない必要事項を確認します			
3	5. 10. 11（水）1・2	Chapter 1						
4	5. 10. 18（水）1・2	(A) Chapter A-(1) (B) Chapter B-(1)	次の方法で、1つのChapterを2～3回程度で扱います（演習グループはChapter毎に変更します）：		注：Chapter A～Jの選択はクラスの希望を踏まえて、決定します。 (1) 新しいChapterに入る際には、音声のみで英文を確認し、次に英文を見ながら確認する。Comprehension Checkに目を通しておく。 (2) 演習を踏まえて、未解決の疑問を確認し、自分なりの解答を準備する。Structure Practice, Listening Challengeに目を通しておく。 (3) 英文や内容に関わる疑問点を再確認する。トピックに関わる情報収集や考察を行い、Going Furtherの演習準備をする。			
5	5. 10. 25（水）1・2	(A) Chapter A-(2) (B) Chapter B-(2)						
6	5. 11. 1（水）1・2	(A) Chapter A-(3)/C-(1) (B) Chapter B-(3)/C-(1)	(1) グループで、発音やリズムに注意しつつ英文を読み合わせ、Comprehension Check含め、疑問点を抽出し、クラス全体で疑問を共有する。					
7	5. 11. 8（水）1・2	(A) Chapter C-(2) (B) Chapter D-(2)						
8	5. 11. 15（水）1・2	(A) Chapter C-(3)/E-(1) (B) Chapter D-(3)/F-(1)	(2) 英文に関わる演習を継続し、疑問箇所に対する解答や共通理解を構築する。Structure Practice, とListening Challengeに解答し、理解度を確認する。					
9	5. 11. 22（水）1・2	(A) Chapter E-(2) (B) Chapter F-(2)						
10	5. 12. 6（水）1・2	(A) Chapter E-(3)/G-(1) (B) Chapter F-(3)/H-(1)	(3) Going Furtherで、意見交換をおこない、トピックに対する理解を深める。					
11	5. 12. 13（水）1・2	(A) Chapter G-(2) (B) Chapter H-(2)						
12	5. 12. 20（水）1・2	(A) Chapter G-(3)/I-(1) (B) Chapter H-(3)/J-(1)						
13	6. 1. 10（水）1・2	(A) Chapter I-(2) (B) Chapter J-(2)						
14	6. 1. 17（水）1・2	(A) Chapter I-(3) (B) Chapter J-(3)						
15	6. 1. 24（水）1・2	Quiz	学習箇所に関わるQuizに解答する		Quizの疑問等確認 到達目標の達成度評価			

教科書 参 考 図 書	教科書 Japan' s Dilemmas: 15 Topics You Need to Consider (音羽書房鶴見書店, 2023) 参考資料 (発表や意見交換のための英語表現等) 等はプリントで配布します
履 修 上 の 注 意	演習中心の授業ですので積極的に参加してください。なお、教科書、辞書をかならず持参してください (スマホを辞書として使用できません)。できれば参考書も持参しましょう。
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	扱われている問題を自分なりに考察してみましょう。 コミュニケーションを円滑に行う雰囲気作りを心がけてください。
e - m a i l ・ 研 究 室 (連 絡 先)	梶 理和子 : 研究室 25 rkazi@yachts.ac.jp

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
英語プレゼンテーション		看護学科 (総合基礎教育科目)	准教授・梶 理和子	選択	2	前期	1	非該当	否
授業概要		この授業では、エッセイ・ライティングとプレゼンテーションの技法を習得するために、TED Talks 等を参考に 300 語程度のエッセイを作成し、発表（プレゼンテーション）してもらいます。エッセイの作成にあたっては、個々の関心や問題意識を明確にし、考えや意見を伝えるために有効な情報を活用できるように、授業のなかで相談・意見交換できる時間を確保します。また、英語の正確な発音やリズムを身につけるために、朗読やシャドーイング（洋楽や TED の活用）の演習もおこないます。							
一般目標		「自分の言葉で、自分の意見を、相手に伝える」のに効果的なエッセイの構成や、プレゼンテーションの方法を習得する。その際に、英語の多様な意味や働き、音やアクセントを検索・選択する有効な方法を活用し、正確な英語表現で、適切な英文を作成する。							
到達目標		1. エッセイの基本構造を理解したうえで、300 語程度のエッセイを作成する。 2. 映像等の音声や英文を参考に、正しい発音や表現等を自分のエッセイ作成・発表に活用する。 3. 複数の（異なる出版社の／語彙の豊富な／Web 上の）辞書を引き、適切な用法・表現を選択する。 4. 英文の構造や、表現等にかかわる疑問点を見つけ、質問や相談をして、解決する。 5. グループワークに積極的に参加する（メンバー間でアドバイス等をおこなう）。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準		演習〔グループワーク等の演習態度や minute paper (quiz 含む)によって評価〕(40) / 提出物（アウトライン・原稿・最終エッセイ）(40) / 最終プレゼンテーション (20)							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当				
1	5. 4. 14 (金) 1・2	オリエンテーション	授業概要説明 自己目標設定	シラバス確認	梶				
2	5. 4. 21 (金) 1・2	エッセイの構造理解	エッセイの種類・形式	配布プリント確認 TED Talks 等の視聴					
3	5. 4. 28 (金) 1・2	エッセイの作成手順(1) 朗読演習(1)	ブレインストーミング リスニング	作成手順(1)確認 TED 等、動画視聴					
4	5. 5. 12 (金) 1・2	エッセイの作成手順(2) 朗読演習(2)	マップ シャドーイング	作成手順(2)確認 TED 等、動画視聴					
5	5. 5. 19 (金) 1・2	エッセイの作成手順(3) 朗読演習(3)	アウトライン 朗読	作成手順(3)確認 TED 等、動画視聴					
6	5. 5. 26 (金) 1・2	プレゼンテーション練習	視線や身振り等を意識しながら朗読演習	プレゼンテーション準備					
7	5. 6. 2 (金) 1・2	プレゼンテーション (朗読)	朗読およびプレゼンテーションの相互評価・意見交換	演習評価確認 課題・目標設定					
8	5. 6. 16 (金) 1・2	エッセイ作成(1) 英文作成演習	ブレインストーミング 英文作成の実践	エッセイのテーマに関わる アイディアの抽出					
9	5. 6. 23 (金) 1・2	エッセイ作成(2) 英作文演習	マップ 英文作成の実践	アイディアの整理（統合・ 削除等）					
10	5. 6. 30 (金) 1・2	エッセイ作成(3) 英作文演習	アウトライン 英文作成の実践	エッセイの全体像設定 情報やデータ等の収集					
11	5. 7. 7 (金) 1・2	エッセイ作成(4)	アウトラインを文章化 エッセイの流れ確認	エッセイの形式・内容確認 情報・データの整理					
12	5. 7. 14 (金) 1・2	エッセイ作成(5)	コロケーション等、自然な 表現の確認	日本語の曖昧さ再考 正確な英文への変換					
13	5. 7. 21 (金) 1・2	エッセイの音読	発音やアクセント、リズム を意識し、音読練習	英文を音読しながら修正の うえ、エッセイを完成					
14	5. 7. 25 (火) 1・2	プレゼンテーション 最終確認	(暗記による) 音読	非言語メッセージを意識した プレゼンテーション					
15	5. 7. 28 (金) 1・2	プレゼンテーション (エッセイ)	エッセイ紹介 設定目標の達成度評価	到達目標の達成度確認					
教 科 書 参 考 図 書		資料はプリントで配布します							
履 修 上 の 注 意		コミュニケーションを円滑に行う雰囲気作りを心がけてください。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		エッセイを作成する際に、多くの情報を集め、より興味深い内容を目指しましょう。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)		梶 理和子：研究室 25 rkazi@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
英語表現法Ⅰ	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 ライアン S.	選択	1	前期	1	非該当	可
授業概要	The goal of this course is to develop English fluency. The focus of the course will be on speaking and listening. Students will work in pairs and practice the model conversations or information gap exercises. There will also be listening tasks that reinforce the language targeted for each chapter. The workbook drills for each chapter will reinforce the grammatical structure of the speaking tasks and will be assigned as homework. Students who have a positive attitude and are not afraid of making speaking mistakes will gain the most from this course.							
一般目標	Developing English speaking and listening ability							
到達目標	To build on previous knowledge to increase speaking/listening ability and increase confidence to communicate in English							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	1. Mid-term & Final Exam (80%) 2. Daily participation (20%) (volunteers will receive a positive mark each class)							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習など		担当
1	5.4.12 (水) 1・2	We will finish as many units as student ability allows. Language functions are linked to advanced grammatical structures and shall include: 1. <u>Describing and comparing people's actions</u> (chapter 8) 2. <u>Describing ongoing past activities</u> (chapter 9) 3. <u>Expressing past/future ability</u> : (chapter 10) 4. <u>Medical examinations/advice</u> : (chapter 11) 5. <u>Describing future activities/making plans</u> : (chapter 12) 6. <u>Offering help / indicating ownership</u> : (chapter 13) *Workbook grammar drills are included in the book for each chapter.				ライアン		
2	5.4.19 (水) 1・2							
3	5.4.26 (水) 1・2							
4	5.5.10 (水) 1・2							
5	5.5.17 (水) 1・2							
6	5.5.24 (水) 1・2							
7	5.5.31 (水) 1・2							
8	5.6. 7 (水) 1・2							
9	5.6.14 (水) 1・2							
10	5.6.21 (水) 1・2							
11	5.6.28 (水) 1・2							
12	5.7. 5 (水) 1・2							
13	5.7.12 (水) 1・2							
14	5.7.19 (水) 1・2							
15	5.7.26 (水) 1・2							
教 科 書 参 考 図 書	Side-by-Side Book 2B (with workbook). Pearson. ISBN 0132460200							
履 修 上 の 注 意	Students who fail to attend 2/3 of the total classes will receive a 0 for a final score.							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	1. Students will make a new partner for each class.							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	ライアン S. : ryan@human.kj.yamagata-u.ac.jp							

[illegible]

授業科目名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
英語表現法Ⅱ	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 田中 亜矢子	選択	1	後期	1	非該当	可
授業概要	このコースでは、皆さんが今まで習得してきた基礎英文法をもとに実践的な英会話力の向上を目指します。筆記試験では求められないコミュニケーション能力を伸ばすため、皆さんが発話できるよう英語圏のゲームなどを用いたアクティビティを主体に授業を進めます。							
一般目標	コース終了後には、英語を母国語として話す人 (Native English Speaker) としてではなく、日本人として今までよりももっと自信を持って外国人と英語でコミュニケーションが出来ることを目標にします。							
到達目標	毎週設定されたトピックから、今まで学んできた基礎英語を使い、話すことを楽しみながらコミュニケーション会話能力を身につけましょう。 教科書などでは文字として分かっているが、実際には発話できない日本人が直面する問題を解消し、基礎的なフレーズの習得による発話能力を高めます。自分を表現すること、英語を話すことが楽しいと実感しましょう。							
成績評価方針 評価方法 および基準	評価配分：授業への参加姿勢 40% グループアクティビティへの参加態度 30% レポート 30 %							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習 など	担当	
1	5. 9. 26 (火) 1・2	英会話で自己紹介 1 トピック Family	・簡単な英語の組み合わせによる英会話演習 ・細かいニュアンスの違いを学ぶ				田中	
2	5. 10. 3 (火) 1・2	2 トピック Food	・日常会話 (挨拶、天気等) の演習					
3	5. 10. 10 (火) 1・2	3 トピック Time	外国人との会話でよく使うフレーズの演習					
4	5. 10. 17 (火) 1・2	4 トピック House and Home	・nice, pretty などを使った演習					
5	5. 10. 24 (火) 1・2	5 トピック Music 好きなことを伝えよう。	・家族メンバーを紹介するための演習					
6	5. 10. 31 (火) 1・2	6 トピック Transportation 道案内を英語で練習	・最も聞かれるパターンの演習					
7	5. 11. 7 (火) 1・2	7 トピック Sport	・生きた英会話を映画から学ぶ					
8	5. 11. 14 (火) 1・2	8 トピック Number	・今やっていることの表現を学ぶ					
9	5. 12. 5 (火) 1・2	9 トピック Best Friends 友達のことをはなそう。	・習慣的に行っていることを表現する					
10	5. 12. 12 (火) 1・2	10 トピック TV 好きなエンタメを話そう。	・副詞で、会話にアクセントをつける					
11	5. 12. 19 (火) 1・2	11 トピック Work 仕事の話をしてよう。	・洋楽、ボードゲームを使って英語や文化の違いを学ぶ					
12	5. 12. 26 (火) 1・2	12 トピック Vacation 旅行の話をしてよう。						
13	6. 1. 9 (火) 1・2	13 トピック School 学校の話をしてよう。						
14	6. 1. 16 (火) 1・2	14 トピック Movies 映画の話をしてよう。						
15	6. 1. 23 (火) 1・2	15 まとめ						
教科書 参考図書	TOPIC TALK SECOND EDITION by David Martin							
履 修 上 の 注 意								
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	簡単な表現をきちんと使いこなし、話せる自分を認識し、しっかりと自信に繋げていきましょう。 Native English Speaker になる必要はないんです。日本人である自分を英語で表現する楽しさの延長上に英語力の上達があります。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	教務学生課							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生					
医療英会話	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 Brad Brooks	選択	2	前期	1	非該当	可					
授業概要	This course will focus on building English fluency about general health topics. In alternating weeks, students will read articles and participate in discussions, then will write skits to perform using the English and information they have learned.												
一般目標	Develop English speaking and listening skills specific to health-related topics.												
到達目標	By the end of this course, students should be able to use English to: 1. Talk about a variety of health topics. 2. Express their opinions and give advice. 3. Listen and respond accordingly to health-related inquiries.												
成績評価方法 評 価 方 法 お よ び 基 準	Discussion participation and preparation 50% Skit Writing and Presentations 50%												
授業計画													
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習 など		担当					
1	5.4.11 (火) 1・2	Orientation	Discussions about various health and medical topics in small groups. Each discussion will happen three times, with different groups. Remaining class time will be spent in small groups preparing for the following week's skit presentations.			Prepare and read for the next discussions.		Brad					
2	5.4.18 (火) 1・2	Discussion											
3	5.4.25 (火) 1・2	Skit Presentation											
4	5.5. 2 (火) 1・2	Discussion											
5	5.5. 9 (火) 1・2	Skit Presentation											
6	5.5.16 (火) 1・2	Discussion											
7	5.5.23 (火) 1・2	Skit Presentation											
8	5.5.22 (月) 1	Discussion	Skit Presentation weeks will start with a short preparation time followed by presentation of skits.			Work in groups to create a skit.							
	5.5.29 (月) 1												
9	5.6. 6 (火) 1・2	Skit Presentation											
10	5.6.13 (火) 1・2	Discussion											
11	5.6.20 (火) 1・2	Skit Presentation											
12	5.6.27 (火) 1・2	Discussion											
13	5.7. 4 (火) 1・2	Skit Presentation											
14	5.7.11 (火) 1・2	Discussion											
15	5.7.18 (火) 1・2	Skit Presentation											
教 科 書 参 考 図 書													
履 修 上 の 注 意		Students should attend the skit presentations sessions, otherwise they don't get the full points of the final score.											
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		This course will consist heavily of speaking practice and building fluency in English. Those who give their best effort to speak English, do the assignments, ask questions, and are not afraid to make mistakes will benefit most from this class. If you are absent, please email Brad or your accountability peer for your homework assignment.											
e-mail・研究室 (連 絡 先)		Brad Brooks : bradleigh-brooks@hotmail.co.uk											

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
医療英会話		三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 田中 亜矢子	選択	2	前期	1	非該当	可
授業概要		・この授業では、健康と医療の問題について英語のテキストを使い、英語と日本語を交え授業を行います。 ・日本と欧米での健康と医療についての考え方の違いを学びます。 ・医療用語（体と健康）も簡単なゲームやアクティビティ、パズルを使って楽しみながら取得していきます。							
一般目標		・健康と医療の問題について、英語で理解でき、英語での会話について自信を持って表現できるようになる。							
到達目標		・健康と医療の問題について英語で理解する。 ・健康と医療トピックに基づいた、簡単な英語会話が出来るようになる。 ・外国人の患者への適切な英語での対応が出来るようになるには？ ・優しい言葉をかけるには？患者の不安を落ち着かせる英語のユーモアやジョークは？							
成績評価方法 評 価 方 法 および基準		評価配分：授業への参加姿勢 40%、グループアクティビティへの参加態度 20%、レポート 40%							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法				授業外学習など	担当	
1	5.4.11（火）1・2	General	} プレゼンテーション, ペアワーク, ゲーム (アクティビティを使用した演習)					田中	
2	5.4.18（火）1・2	L1 - Living to be 100							
3	5.4.25（火）1・2	L2 - Preventing cancer							
4	5.5. 2（火）1・2	L3 - Smoking							
5	5.5. 9（火）1・2	演 習	} プレゼンテーション, ペアワーク, ゲーム (アクティビティを使用した演習)						
6	5.5.16（火）1・2	L4 - Passive smoking							
7	5.5.23（火）1・2	L5 - Exercise							
8	5.5.30（火）1・2	L6 - Healthy food							
9	5.6. 6（火）1・2	演 習	} プレゼンテーション, ペアワーク, ゲーム (アクティビティを使用した演習)						
10	5.6.13（火）1・2	L7 - Alcohol							
11	5.6.20（火）1・2	L8 - Stress							
12	5.6.27（火）1・2	L9 - Obesity							
13	5.7. 4（火）1・2	演 習							
14	5.7.11（火）1・2	まとめ1							
15	5.7.18（火）1・2	まとめ2							
教 科 書 参 考 図 書		教科書：Health talk - Health Awareness & English Conversation (MacMillan)							
履 修 上 の 注 意									
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		医療というトピックを英語で学びながら、実際に自信を持って話せる基礎会話力を伸ばして行きたいと思います。 蓄えてきた今までの英語力、聞く力や書く力に加えて、話す能力を磨いていきます。 “愛と笑いの伝道師 ピエロ医師パッチ・アダムス” から医療英語を考えてみませんか？							
e - m a i l ・ 研 究 室 (連 絡 先)		教務学生課							

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
実践英語		理学・作業療法学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 ライアン S.	選択	2	後期	1	非該当	可
授業概要		In this course, students will develop their English fluency and formal speaking skills by doing discussions in small groups of 3-4 students. Students will be given a topic that they requires them to describe their opinions and ask others by using formal discussion phrases (class handout). There will be 3-4 topic discussions with different members of the class each lasting 10-15 minutes. There will be a group leader for each discussion and each group will write a speaking script to help with their discussion. During group preparation time, students can ask the teacher about difficult words or expressions they want to know to help form their opinions. After the discussion is finished, the teacher will review mistakes and give advice on how to improve.							
一般目標		The goal of the course is for students to be able to form their own opinions and use formal business style phrases in a small group discussion format.							
到達目標		To be able to debate the merits and demerits of a topic by using formal English debate phrases in a small group.							
成績評価方針 評価方法 および基準		Each discussion is worth 35 points. Students will be graded on how many times and how well they use the phrases. For example, if students complete 4 discussions (4 x 35=140 points). e.g. (4 Discussions: 24+28+30+32) 114 / 140 = 81%							
授業計画									
回	日付		授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習など		担当
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	5. 9. 27 (水) 2 5. 10. 4 (水) 2 5. 10. 11 (水) 2 5. 10. 18 (水) 2 5. 10. 25 (水) 2 5. 11. 1 (水) 2 5. 11. 8 (水) 2 5. 11. 15 (水) 2 5. 11. 22 (水) 2 5. 11. 29 (水) 2 5. 12. 6 (水) 2 5. 12. 13 (水) 2 5. 12. 20 (水) 2 6. 1. 10 (水) 2 6. 1. 17 (水) 2		Example class schedule 1.Class Introduction. Handouts. 2.Phrases handout explanation/ pronunciation /Topic 1 preparation start 3.Topic 1 group preparation 4.Topic 1 grammar check/speaking practice check 5. Start/Finish Topic 1 discussion 6.Topic 2 introduction handout/new groups/preparation 7. Topic 2 group preparation 8. Topic 2 grammar check/speaking practice check 9. Start/Finish Topic 2 discussion 10-14 continued 15 Finish Topic 3/Final written discussion report or test						
教 科 書 参 考 図 書			なし. Print outs will be distributed each week.						
履 修 上 の 注 意			Students who miss 1/3 or more of classes will receive a 0 for their final score.						
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ			This class is active learning and self-paced. Therefore, student effort will be important for improvement.						
e - m a i l ・ 研 究 室 (連 絡 先)			ライアン S. : ryan@human.kj.yamagata-u.ac.jp						

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
韓国語	看護学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 権 純縣	選択	1	前期	1	非該当	可
授業概要	韓国語入門編として、はじめに韓国語の言語体系と固有文字 ^{ハングル} 한글誕生の経緯を解説します。 次に ^{ハングル} 한글の仕組みと特徴を押さえ、 ^{ハングル} 한글の母音と子音のスペルと発音を学習します。 その後、発音規則を学び、 ^{ハングル} 한글の読み書きに慣れてきたところで、韓国語による挨拶語や自己紹介など基本的な会話を習得します。 数詞は漢数詞を用いて、日付や生年月日などが韓国語で言えるように練習します。 また、隣国理解が深まるよう、折にふれ韓国の歴史文化や伝統習慣、タイムリーな話題などを取り上げます。							
一般目標	総合基礎教育科目として配置されている本科目は、初級韓国語の学習を通して、地域社会や職場で豊かな人間関係を築くために必要な幅広い教養の習得を目指し、自己を取り巻く世界や隣人の環境を知り、多角的な視点から物事を考え実践できる力をつけることを目的とします。							
到達目標	① ^{ハングル} 한글の読み書きが正確にできるようになる ②韓国語で基本的な挨拶や会話のやり取り、自己紹介ができるようになる ③漢数詞を用いて日付や生年月日、電話番号などが言えるようになる ④韓国の歴史文化や半島情勢について関心を深め、多文化理解につながる多様な視点と考察力を身につける							
成績評価方針 評価方法 および基準	授業内小テスト 80% ※前期期末試験は行わず、既習内容の整理と振り返りを兼ねて、各授業項目ごと の小テストを実施します 授業内活動 20% ※授業中の発音練習をはじめとする熱心な学習姿勢を評価します							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法	授業外学習など	担当			
1	5.4.10 (月) 1	ガイダンス	(1)授業の内容と流れの確認 (2)成績評価や試験についての説明 (3)授業担当者の紹介も兼ね、韓国の「姓名」について解説	〈予習〉 前回の授業の学習内容を基礎力に、次の学習項目を確認の上、できる範囲で練習してみる (目安時間 30 分)	権			
2	5.4.17 (月) 1	韓国語の言語体系と ^{ハングル} 한글の仕組み	(1)韓国語の言語体系と固有文字 ^{ハングル} 한글誕生の経緯を学ぶ (2) ^{ハングル} 한글の仕組みと特徴を押さえる	〈復習〉 宿題のほか、既習内容をテキストの練習問題で練習しておく (目安時間 30 分)				
3	5.4.24 (月) 1	韓国語の文字と発音①	単母音＝基本母音のスペルと発音を学習する					
4	5.5. 1 (月) 1	韓国語の文字と発音②	二重母音＝複合母音のスペルと発音を学習する					
5	5.5. 8 (月) 1	韓国語の文字と発音③	子音三種「平音・激音・濃音」それぞれの特徴を押さえ、基本子音＝平音のスペルと発音を学習する					
6	5.5.15 (月) 1	韓国語の文字と発音④	激音と濃音のスペルと発音を学習する					
7	5.5.22 (月) 1	韓国語の文字と発音⑤	母音と子音を正しく組み合わせ、練習語句で読み書きの練習をする					
8	5.5.29 (月) 1	発音規則①	終声音節＝받침 ^{パッチム} の代表 7 音のスペルと発音を学習する					
9	5.6. 5 (月) 1	発音規則②	連音＝liaison ^{リエゾン} を学習する					

10	5. 6. 12 (月) 1	発音規則③	鼻音化・激音化・舌側音化・濃音化を学習する		
11	5. 6. 19 (月) 1	日本の固有名詞の ^{ハングル} 한글表記法	^{ハングル} 한글で氏名や地名を書き出し、ネームカードを作成する		
12	5. 6. 26 (月) 1	自己紹介	自己紹介について「導入の挨拶、氏名、大学・学部名、学年・結びの挨拶」の表現とやり取りを学習する		
13	5. 7. 3 (月) 1	漢数詞	漢数詞を用いて、日付や生年月日、電話番号などが言えるよう練習する		権
14	5. 7. 10 (月) 1	韓国事情	韓国映画を鑑賞する		
15	5. 7. 24 (月) 1	体言文・総括	体言＝名詞文「～は～です／ですか」の文型を学習し、名詞を使った基本的な会話能力を身につける 既習内容を整理し、これまでのフィードバックを行う		
教 科 参 考 図 書		教 科 書：「みんなで学ぶ韓国語 文法編」金眞/柳圭相/芦田麻樹子著 朝日出版社 参考図書：「ハングルの世界」金両基著 中公新書「朝鮮 -民族・歴史・文化-」金達寿 岩波新書 「在日」姜尚中著 講談社			
履 修 上 の 注 意		日本語に比べ韓国語は母音と子音数が多く、種々の発音を有します。多い分、意味も覚えるコツもあります。講義に集中して臨み、ハングルのスペルと発音練習には根気よく取り組みましょう。テキストの他に各種学習・資料プリントを配布します。テキストとノートの準備と共に、配布されるプリントはファイルに綴じて、いつでも活用できるようにしましょう。			
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		「宵の口のオンドルが暖かければ、明け方のオンドルも暖かい」という韓国の諺があります。備えて真摯に進めば得られることが多いとの訓え ^{おし} えです。専門職に就き、日韓間をはじめとする明日の国際社会を担いゆく皆さんが、言語文化の学習を通して、人の尊厳と倫理観に基づく多文化理解を深める契機を持つことには大きな意義があると思います。甲斐のある学びとなるよう、期待しています。			
e-mail・研究室 (連 絡 先)		権 純縣：k. soonhyun-0221@ezweb. ne. jp			

授 業 科 目 名	学 科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
中国語	看護学科 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 劉 含発	選択	1	後期	1	非該当	可
授業概要	中国の共通語の基礎的運用能力を、易しい会話の材料を使って、主に聞き・話す側面に重点を置いて養成します。中国語の音に慣れ親しむために、中国のさまざまな文化にも触れます。							
一般目標	中国語のピンイン（日本語の「ふりがな」に相当）が読める、簡単な文章を音読できる、挨拶や自己紹介、簡単な会話ができるようになります。							
到達目標	中国語のピンインが読めるようになること、中国語で挨拶や自己紹介ができること。また、「いつ、どこで、だれが、どうした」という基本的な会話のやり取りと文章表現ができる。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	中間テスト：発音チェック（本文の音読） 20 点 定期テスト：筆記とリスニング 80 点							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習など		担当
1	5. 9. 25 (月) 2	ガイダンス	中国語の概要・声調練習・挨拶					劉
2	5. 10. 2 (月) 2	単母音/複母音	母音、簡単な挨拶、数字の発音練習					
3	5. 10. 16 (月) 2	鼻母音の発音・自己紹介	鼻母音の発音練習、第1課本文の音読					
4	5. 10. 23 (月) 2	子音・自己紹介をする	発音練習、自己紹介の練習・ドリル					
5	5. 10. 30 (月) 2	子音・所有の表現	発音練習&第2課					
6	5. 11. 6 (月) 2	発音総復習&所有表現	発音の総復習&1 & 2 課の会話練習					
7	5. 11. 13 (月) 2	第3課 家族の紹介	会話練習 音読・ドリル					
8	5. 11. 20 (月) 2	第4課 場所の表現	会話練習とドリル					
9	5. 12. 4 (月) 2	復習・発音テスト	1～4課の復習・発音テスト					
10	5. 12. 11 (月) 2	第5課 年月日	本文の音読・会話練習					
11	5. 12. 18 (月) 2	第6課 時間	本文の音読・会話練習					
12	5. 12. 25 (月) 2	第7課 可能の表現	5 & 6 のドリル解答 可能表現の練習					
13	6. 1. 15 (月) 2	第9課 「～が好き」	本文の理解・音読・会話練習					
14	6. 1. 22 (月) 2	7 & 9 課の復習	総復習					
15	6. 1. 29 (月) 2	テスト						
教 科 書 参 考 図 書	教科書：『しゃべっていいとも 中国語 中西君と一緒に中国へ行こう！』 陳淑梅・劉光赤 著 朝日出版社 辞書：小学館 『プログレッシブ中国語辞典』、日中・中日が入っている電子辞書など							
履 修 上 の 注 意	休まず授業に出席し、耳と口を働かすこと。 教科書附属のCDを普段から学習の友とすることができれば、あなたは中国語を確実に伸ばすことができるでしょう。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	予習、復習など日々の積極的な取り組みを大事にしましょう。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	劉 含発：Liuhanfa@hotmail.com							

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学 年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
アカデミックリテラシー		看護学科 (総合基礎)	教授・安保 寛明* 助教・渡邊 礼子 助教・佐藤 志保 助教・鈴木 龍生 助教・佐藤 千穂 助教・丸山 香織 助教・齋藤 愛依 助教・栗田 敦子 助教・前田のぞみ 助教・富樫 理恵 助教・貝野瀬友希 (*：科目責任者)	必修	1	前期	1	非該当	否
授業概要		論理的思考力を獲得するための論理的記述法、様式の整理、校閲、データベースの活用、プレゼンテーションに関する基本的技能を講義と演習によって教授する。							
一般目標		・ 論理的構成を伴ったレポートが記述できる。 ・ 一次資料や二次資料を分類し、事実関係にそって記述できる。 ・ ソフトウェアを活用したプレゼンテーションを行うことができる。							
到達目標		・ 序論・本論・帰結（結論）がある、主述の記法、接続詞、事実性、文献引用と出典の記載などの基本的展開を理解して記述できる。 ・ 一次資料や論文における事実関係の程度を把握でき、資料の引用における適切な記法を活用できる。 ・ 図表、レポートにおけるレイアウトが適切に記載できる。 ・ 論文データベース、統計データベースを活用したプレゼンテーションを行える。 ・ データベースをデータの種類に応じて活用することができる。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準		評価方針：到達目標に対応した課題を設定する。 レポート課題（30%）、プレゼンテーション課題（25%）、演習課題（20%）、定期試験（25%）であり、各講義内で提示する。							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法				授業外 学習など	担当	
1	5. 4. 12（水）4	論理的であることの意味						安保	
2	5. 4. 19（水）4	論理的記述（1）	序論・本論・帰結（結論） 主述の対応、能動態と受動態 接続詞、事実性、文献引用と出典				演習課題	安保	
3	5. 4. 26（水）4	論理的記述（2）	事実関係の把握 資料の引用における事実関係の程度と記述 複数資料の比較				レポート 課題発出	安保 助教	
4	5. 5. 17（水）4	論理的記述（3） 書式を揃える	図表の記載把握、 レイアウト、引用の範囲と記法				レポート 課題提出	安保	
5	5. 5. 31（水）4	校閲する データベースを活かす1	校閲演習 論文データベースの活用 統計データベースの活用				演習課題	安保	
6	5. 6. 14（水）4	データベースを活かす2	事実関係をもとに考察する				プレゼン 課題発出	安保	
7	5. 6. 28（水）4	プレゼンテーションを 準備する	プレゼンテーションの構成				プレゼン 課題提出	安保	
8	5. 7. 19（水）4	プレゼンテーションを 活用する	他者のプレゼンテーションをもとにした考察					安保	
教 科 書 参 考 図 書		参考書 水戸美津子，ナースのためのレポートの書き方 中央法規出版，2020 年							
履 修 上 の 注 意		コンピュータを活用した演習がありますので、環境面の準備をしてください。 定期試験では、論理的構成力や語彙力、定められた時間で記述できる即応性などを評価することを目的に行います。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ									
e-mail・研究室 (連 絡 先)		安保寛明：研究室 15 hambo@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選択 の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
情報科学・ 情報リテラシー	三学科共通 (総合基礎教育科目)	非常勤講師 常松 佳恵	必修	1	前期	2	非該当	否
授業概要	情報リテラシー（コンピュータに関わる基本スキル）を実際にコンピュータに触れつつ、習得する。							
一般目標	コンピュータを使用し、効率的に仕事を進められるスキルを身に着ける。							
到達目標	・ Word を使い、グラフや図の作製、レポートや論文の作成ができる。 ・ Excel を使い、表計算、グラフの作成ができる。 ・ Power Point により、プレゼンテーションができる。 ・ インターネットを悪用した犯罪に関する知識と自らの環境を守るセキュリティー技術を身に着ける。							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	授業ごとに提出される課題について評価する。							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法			授業外学習 など	担当	
1	5. 4. 14 (金) 1-3	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンス、 Eメールの送信方法と礼儀、タイピング				常松	
2	5. 4. 21 (金) 1-3	ファイル・フォルダの構成	ファイル・フォルダの構成、拡張子、PC のお手入れ方法					
3	5. 4. 28 (金) 1-3	Word の基本操作	ワードの基本操作、図形の挿入法					
4	5. 5. 12 (金) 1-3	ペイントでのお絵かき	自分の似顔絵作成					
5	5. 5. 19 (金) 1-3	Word による表・数式作成	ワード上での表の作成、数式入力					
6	5. 5. 26 (金) 1-3	Word による論文作成(1)	論文の構成、フォーマットの使用法					
7	5. 6. 2 (金) 1-3	Word による論文作成(2)	引用文献の検索と書き方					
8	5. 6. 16 (金) 1-3	Excel による表作成	表の作成					
9	5. 6. 23 (金) 1-3	Excel によるグラフ作成	グラフの作成					
10	5. 6. 30 (金) 1-3	Excel による統計処理	関数の使い方					
11	5. 7. 7 (金) 1-3	Excel による数値計算	連立方程式の解法					
12	5. 7. 14 (金) 1-3	Power Point によるスライド 作成	パワーポイントの構成、デザイン、お絵か き					
13	5. 7. 21 (金) 1-3	Power Point によるプレゼン の方法	プレゼン資料作成					
14	5. 7. 25 (火) 1-2 5. 7. 26 (水) 4	Power Point による プレゼンテーション	プレゼンテーション					
15	5. 7. 28 (金) 1-3	ネット上のウィルスとセキュ リティー技術	ウィルスの種類、セキュリティーの基礎知 識と自分の環境を守る技術					
教 科 書 参 考 図 書	授業内容と課題は、ホームページに掲載します。							
履 修 上 の 注 意	PC の起動に時間がかかります。教室に到着したら、まずはPC のスイッチを入れてください。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	授業開始直後に一通り説明し、その後、各自が作業をするスタイルです。 説明では、細かい裏技を紹介します。メモをとりながら聞いてください。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)	常松 佳恵 : kae_tsunematsu@sci.kj.yamagata-u.ac.jp 山形市小白川1-4-1 2 山形大学理学部							

授 業 科 目 名		学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講 時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
問題解決思考		看護学科 (総合基礎科目)	放送大学	選択	1	後期	2	非該当	不可
授業概要		問題解決に必要な情報の収集から分析までの一連の過程を通し、解決策を見出す科学的技法を紹介し、主体的に学ぶことと、協働して学ぶスキルを身につける。 放送大学が開講する「問題解決の進め方（' 19）」を受講する。							
一般目標 到達目標		1. 学ぶことの心構えとその有効性を理解できる。 2. ものの見方や考え方に関する知識を理解する。 3. 知的好奇心をもって問題を見つけ、考え、継続的に主体的に学習する手法を身につけることができる。							
成績評価方針 評 価 方 法 お よ び 基 準		放送大学が実施する単位認定試験結果を評価とする							
授業計画									
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法				授業外学習 など	担当	
1	オンデマンド	問題とは	詳細は、放送大学シラバスを参照						
2		問題を見つける							
3		目標を設定する							
4		情報を収集して整理する							
5		数値情報を扱う							
6		図解化して見る							
7		分析的に考える							
8		学習記録と振り返り							
9		発想を広げる							
10		組織での進め方（1）							
11		組織での進め方（2）							
12		組織での進め方（3）							
13		集団の意思決定とコミュニケーション							
14		解決策を実行する							
	評価する								
教 科 書 参 考 図 書		教科書： 放送大学が指定するテキスト							
履 修 上 の 注 意		放送大学「問題解決の進め方（' 19）」をオンデマンドで受講する。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ		大学において学ぶ姿勢を身につける重要な科目です。大学における学習だけでなく、今後の将来にも役立ちます。							
e-mail・研究室 (連 絡 先)		担当教員、教育補助教員 遠藤恵子：研究室 20 kendo@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
地元(やまがた) 探求Ⅰ	看護学科 (総合基礎科目)	助教・佐藤 志保 助教・鈴木 龍生 教授・沼澤さとみ	必修	1	前期	1	非該当	可
授業概要	地元(やまがた)で暮らす人々の生活を複数の視点によるアプローチから地元を理解し、学生個々人の地元に対する愛着を深めることを目的とする。							
一般目標	1. 地元(やまがた)の特徴を、歴史や食文化など複数の視点によるアプローチから理解できる 2. 地元(やまがた)の特徴を、社会的なアプローチから探究することができる 3. 地元(やまがた)を探究する意義が理解できる							
到達目標	1. 地元(やまがた)の強み・弱みと課題について、歴史、食文化など複数の視点によるアプローチから理解したことを自分の言葉で説明できる 2. 自分にとっての地元について、地元と捉える理由を述べることができる 3. 大学周辺の地区について、グループメンバーとチームで調査することができる 4. 地区踏査を行って気づいた、地元(やまがた)の強み・弱み、課題について、まとめることができる 5. 効果的に口頭でポスター発表をすることができる 6. 自分にとっての地元を探究する意義を自分の言葉で説明できる							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	方針：学習態度や記録の内容により到達目標の達成度を総合的に評価する 方法及び基準： ・レポート60%：到達目標が内容に盛り込まれているかどうか ミニレポート①：10%、ミニレポート②：10%、レポート：30%、ミニッツペーパー：10% ・プレゼン内容：20% ・調査や発表への参加態度：20%							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法		授業外学習など		担当	
1	5. 5. 17 (水) 5	地元(やまがた)を探究するとは	・地元の用語に関連する概念 ・地元を探究する意義		自分にとっての地元について考える(ミニッツペーパー)		佐藤	
2	5. 5. 26 (金) 4	地元(やまがた)の文化の特徴1	・歴史的視点からみた地元(やまがた)の生活の特徴		ミニレポート① 授業から理解したことを記述する		(ホッパ)	
3	5. 5. 29 (月) 5	地元(やまがた)の文化の特徴2	・食文化的視点からみた地元(やまがた)の生活の特徴		ミニレポート② 授業から理解したことを記述する		(ホッパ)	
4	5. 6. 2 (金) 4	地元探求(住民の暮らしと文化について)	・オリエンテーション 地区踏査の方法・実施上の注意 ・大学周辺の地域を調査するにあたり、地域を選定する。 ・グループで、調査内容など企画・立案する(演習・グループ活動)		グループメンバーまたは個人で調査内容を検討する(ミニッツペーパー)		佐藤 鈴木	
5	5. 6. 16 (金) 3-4	地元探求(地区踏査)	・計画に基づき、大学周辺を地区踏査し、地元の強み・弱み、課題について探究する		グループメンバーと結果を整理する		佐藤 鈴木	
6			・調査結果をまとめ、発表用ポスターを作成する(演習・グループ活動)		地区踏査を行っての気づきを書く(ミニッツペーパー)			
7	5. 7. 12 (水) 4-5	地元探求(まとめと発表)	・地区踏査の結果から、地域住民の暮らしと文化についてまとめ、発表する(グループ活動)		レポート「自分にとっての地元を探究する意義」について		佐藤 鈴木	
8								
教 科 書 参 考 図 書	特にありません。参考図書は講義の中で随時紹介します。							
履修上の注意	グループでの演習があるので、健康に留意し休まず参加できるようにしましょう。地元(やまがた)の文化の特徴だけでなく、自分の地元を意識しながら、地元への理解を深められるよう学習してください。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	地元で生活している人の理解を深める意義を学ぶ科目です。地元(やまがた)の強み・弱み、課題を探究することを通してなぜ地元が注目されるのか、地元を探究する意義を考えていきましょう。それぞれの学生にとっての地元も意識し、地元への愛着が芽生えるような科目にしていきたいと思います。							
e-mail・研究室 (連絡先)	佐藤：第1共同研究室 ssato@yachts.ac.jp 鈴木：第1共同研究室 rsuzuki@yachts.ac.jp							

授 業 科 目 名	学科 (科目区分)	担 当 教 員 職・氏名	必修・選 択の別	学年	開講時期	単位 数	先修条件 指定科目	科目等 履修生
地元(やまがた) 探求Ⅱ	看護学科 (総合基礎科目)	助教・佐藤 志保 助教・鈴木 龍生 教授・沼澤さとみ	必修	1	後期	1	非該当	可
授業概要	地元に貢献することの意義を理解し、社会的役割としての「キャリアデザイン」について学ぶとともに、地元貢献のアクションプランを策定するプロセスを体験することを目的とする。							
一般目標	1. 地元に貢献することの意義について理解できる 2. 自分のキャリアを積み重ねていくことの重要性について理解できる 3. 地元（やまがた）の医療機関の特徴を理解できる 4. 看護職が地元において果たすべき役割を踏まえ、キャリアデザインを考えることができる							
到達目標	1. 地元に貢献する意義とは何か、自分の言葉で述べるができる 2. 地元に貢献するために、何が必要か検討することができる 3. 先輩看護職の話から、自分のキャリアについて述べるができる 4. 自分のキャリアデザインを組み立てることができる 5. 地元（やまがた）の生活に密着した医療について、自分の言葉で説明できる 6. 地元（やまがた）の医療の課題について、検討することができる 7. 看護の対象である住民が地元で生活していく(生きる・活きる)ために、何が必要か検討することができる 8. 看護職が地元で果たすべき役割について、自分の言葉で述べるができる							
成績評価方針 評 価 方 法 および基準	方針：学習態度や記録の内容により到達目標の達成度を総合的に評価する 方法及び基準： ・レポート 60％：到達目標が内容に盛り込まれているかどうか ミニレポート①：10％、ミニレポート②：10％、レポート：30％、ミニッツペーパー：10％ ・プレゼン内容：20％ ・グループ討議や発表への参加態度：20％							
授業計画								
回	日付	授業項目・学習課題	学習内容・学習方法		授業外学習など		担当	
1	5.12.11（月）5	地元（やまがた）の医療福祉に関連する施設について	・地元の生活に密着した医療福祉に関連する施設について ・各施設の果たす役割について		ミニレポート①： 自分の地元（市区町村）にどのような医療福祉に関連する施設があるか、考えられる課題について		佐藤	
2	5.12.14（木）3	キャリアデザインとは	・キャリアデザインとは何か ・自己のキャリアデザインについて関心を持つ		ミニレポート②： キャリアデザイン・シートを記入		佐藤 鈴木	
3	5.12.14（木）4	地元で働くこと・1	・地元で働くことの意義と働くことでわかる地元の特徴を知る ・卒業生等（看護師・助産師・保健師）から、地元で働くことの意義を語ってもらい、講師と意見交換をする		ミニッツペーパー		スポット 講師	
4	5.12.18（月）5	地元で働くこと・2			ミニッツペーパー		スポット 講師	
5	5.12.25（月）5	地元で働くこと・3	・看護師・保健師・助産師が勤務する場所について		ミニッツペーパー		スポット 講師	
6	6. 1.11（木）3	地元で働くこと・4	・地元住民の生活に関連した職種から活動内容を聞く		ミニッツペーパー		スポット 講師	
7	6. 1.18（木）3	キャリアデザインを考える	・地元で生活する意義を学生自身が改めてまとめ発表する ・学生同士の意見交換をとおして理解を深める ・まとめ		ミニッツペーパー レポート： 自己のキャリアデザインについて		佐藤 鈴木	
8	6. 1.18（木）4							
教科書 参考図書	特にありません。参考図書は講義の中で随時紹介します。							
履修上の注意	スポット講師が担当する授業が複数あります。様々な話をきくことができる貴重な機会なので、体調管理に留意し、欠席しないようにしましょう。 地元に貢献することを意識するとともに、将来のキャリアデザインについても思考を深められるよう授業に参加してください。							
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ	先輩や地元住民の生活に関わる職種の方々の話を聴き、地元に貢献することの意義、自分の仕事やキャリアデザインについて考えましょう。							
e-mail・研究室 （連絡先）	佐藤：第1共同研究室 ssato@yachts.ac.jp 鈴木：第1共同研究室 rsuzuki@yachts.ac.jp							